

自由記述の回答については
省略しております

丸森町

「結婚・婚活・子育てに関する意識調査アンケート」
調査結果報告書

～分析編～

令和5年11月

丸森町

目次

- | | |
|------------|-----|
| 1. アンケート概要 | P3～ |
| 2. アンケート結果 | P4～ |

1. アンケート概要

(1) 実施目的

本町の出生数は減少傾向にあり、出生数を増加させるためには子育て支援に加えて、結婚を希望する町民が希望する年齢で結婚できるように、町として支援する体制が必要である。

本業務は、本町の結婚支援等推進施策に町民ニーズを反映させることを目的に、婚活・結婚・子育てに関する町民ニーズを把握するために実施する。

(2) 対象者

18歳以上45歳未満の住民基本台帳に登録がある者の中から抽出された1,000人。

(3) 実施期間

令和5年8月10日～8月31日

(4) 調査方法

郵送法によって配付・回収した。ただし、回収に関しては、web機能も活用し回収した。

(5) 調査内容

独身者には「結婚に対する希望」「婚活の状況」「将来的にこどもが欲しいと思うか」、既婚者には「結婚を決めたときのきっかけ」「子育ての状況」などについて調査を行った。また、全員に対して、「少子化に対する考え」「町の結婚・子育て支援施策の認知度」について調査を行った。

(6) 配付・回収状況

配付数	1,000票
配達不可による戻り	5票
回収数	275票（郵送回収191票、web回収84票）
回収率	27.6%

(7) アンケート集計結果の見方

- ・「2.アンケート結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- ・百分率による集計では、回答者数を100%として算出し、本文及び図表の数字に関してすべての少数第2位以下を四捨五入し、少数第1位までを表記します。このすべての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答可の設問ですべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- ・有効回答数とするため、無回答及び該当者以外の回答は除外して集計しています。

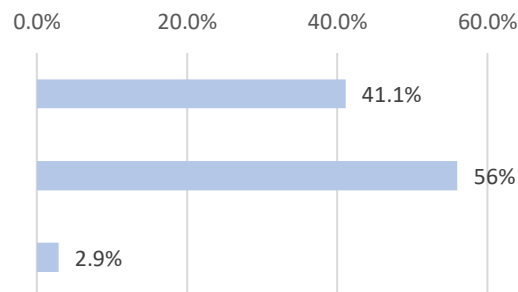
2. アンケート結果

(1) 有効回答数 各設問に有効回答者数を記載

(2) 調査結果

1. 性別回答数

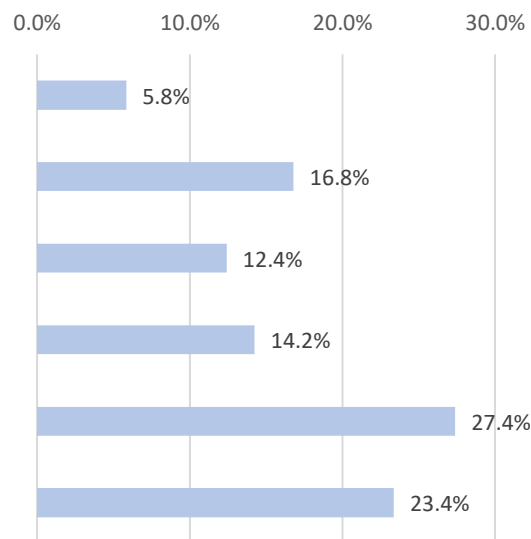
回答項目	回答数	回答者 (275名)
男性	113	41.1%
女性	154	56%
回答しない	8	2.9%
計	275	100%



女性が回答者の約56%を占め、男性は約41.1%であった。男性が113人、女性が154人、回答しないが8人だった。

2. 年齢別回答数

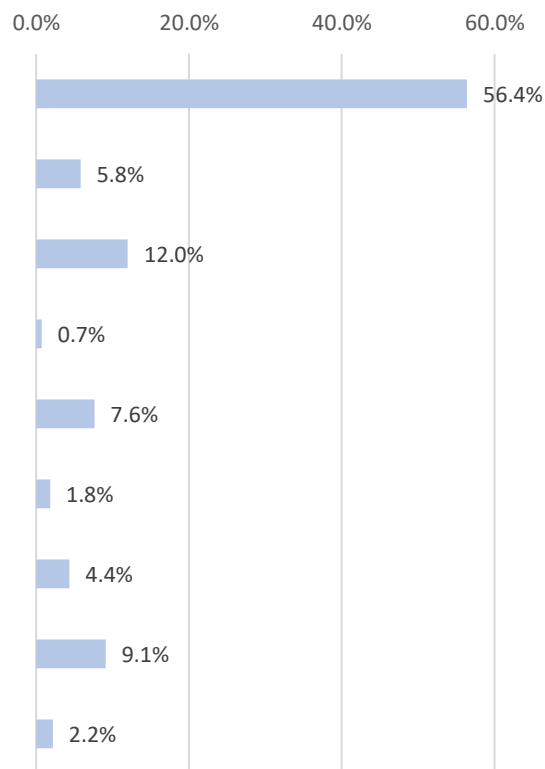
回答項目	回答数	回答者 (274名)
①10代	16	5.8%
②20歳～24歳	46	16.8%
③25歳～29歳	34	12.4%
④30歳～34歳	39	14.2%
⑤35歳～39歳	75	27.4%
⑥40歳～44歳	64	23.4%
計	274	100.0%



年齢については「⑤35～39歳」が75人（約27.4%）で最も多く、次いで「⑥40歳～44歳」が64人（約23.4%）であった。

3. 職業別回答数

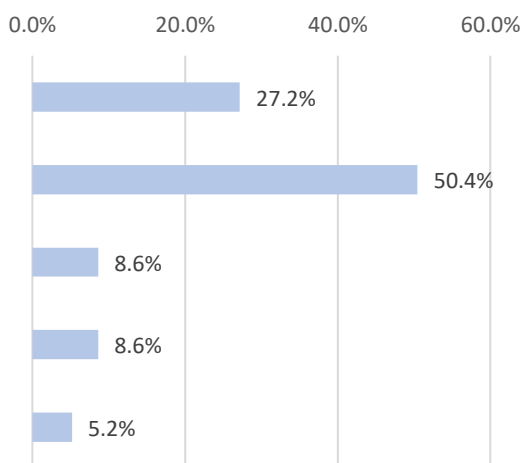
回答項目	回答数	回答者 (275名)
①正規社員・職員	155	56.4%
②非正規社員・職員 (ア)フルタイム	16	5.8%
非正規社員・職員 (イ)パートタイム・アルバイト	33	12.0%
③自営業・家族従業員（農業）	2	0.7%
④自営業・家族従業員（農業以外）	21	7.6%
⑤専業主婦（主夫）	5	1.8%
⑥無職	12	4.4%
⑦学生	25	9.1%
⑧その他	6	2.2%
計	275	100.0%



正社員が約56.4%で全体の半分以上を占めている。次いでパートタイム・アルバイトが約12%であった。

4. 勤務体系別回答数

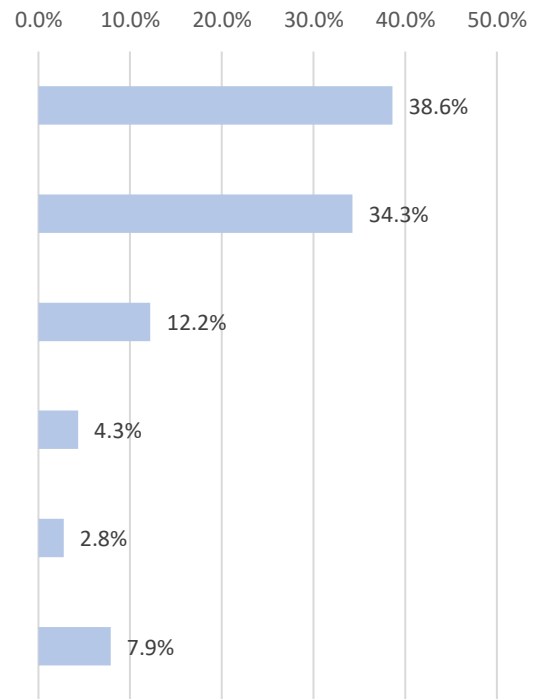
回答項目	回答数	回答者 (232名)
①〇時～〇時と、働く時間は決まっている (残業なし)	63	27.2%
②〇時～〇時と、働く時間は決まっている (残業あり)	117	50.4%
③勤務時間はシフト制（交替勤務）である (残業なし)	20	8.6%
④勤務時間はシフト制（交替勤務）である (残業あり)	20	8.6%
⑤勤務時間は自分の裁量で決めることができる	12	5.2%
計	232	100.0%



働く時間が決まっておリ残業がある人が約50.4%であった。残業なしの人を合わせると約77.6%の人が「〇時～〇時」というように、働く時間が決まっているということが分かった。

5. 通勤（通学）時間別回答数

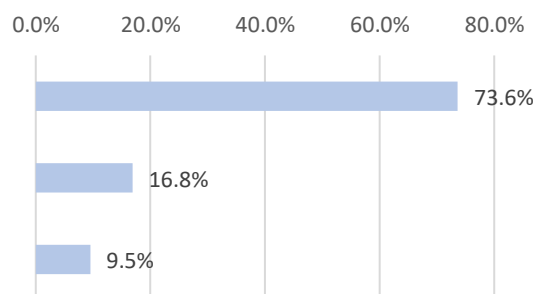
回答項目	回答数	回答者 (254名)
①15分未満	98	38.6%
②15分以上30分未満	87	34.3%
③30分以上45分未満	31	12.2%
④45分以上1時間未満	11	4.3%
⑤1時間以上1時間半未満	7	2.8%
⑥1時間半以上	20	7.9%
計	254	100.0%



通勤時間については「①15分未満」が約38.6%で「②15分以上30分未満」が約34.3%であった。通勤場所が30分圏内という人が約72.9%となり、全体の7割超えということが分かった。

6. 出身地別回答数

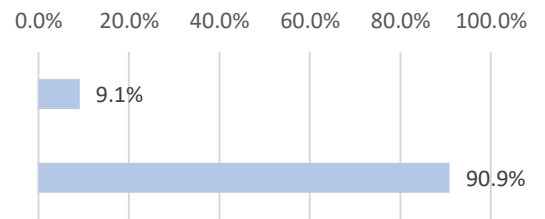
回答項目	回答数	回答者 (273名)
①丸森町内	201	73.6%
②町外の県内市町村	46	16.8%
③宮城県外	26	9.5%
計	273	100.0%



出身地については丸森町内が最も多く201人（約73.6%）で、町外出身者が合計72人（約26.3%）であった。

7. 家族構成別回答数

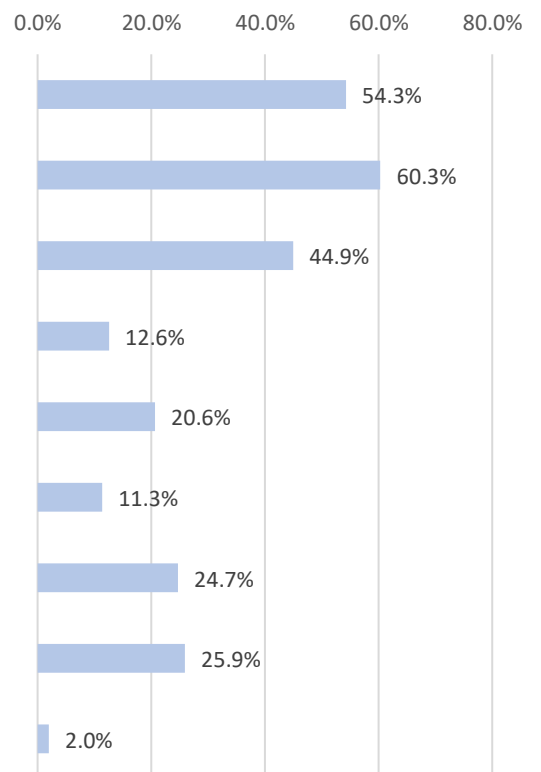
回答項目	回答数	回答者 (274名)
①一人暮らし	25	9.1%
②家族などと同居	249	90.9%
計	274	100.0%



家族と暮らしている人が約90.9%で、一人暮らしをしている人は全体の約9.1%であった。

※同居家族の内訳

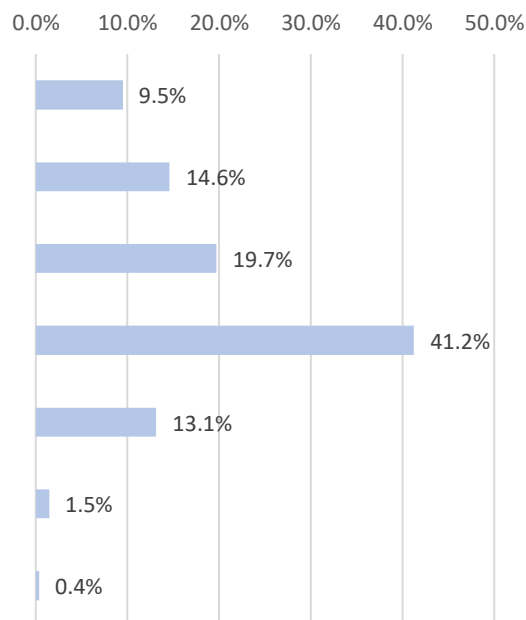
回答項目	回答数	回答者 (247名)
ア. 父	134	54.3%
イ. 母	149	60.3%
ウ. 配偶者	111	44.9%
エ. 子 (1人)	31	12.6%
子 (2人)	51	20.6%
子 (3人以上)	28	11.3%
オ. 兄弟・姉妹	61	24.7%
カ. 祖父母	64	25.9%
キ. その他	5	2.0%



家族と暮らしている人のうち、親と同居しているのが最も多く、母親が約60.3%、父親が約54.3%であった。

8. 個人の2022年の年収別回答数

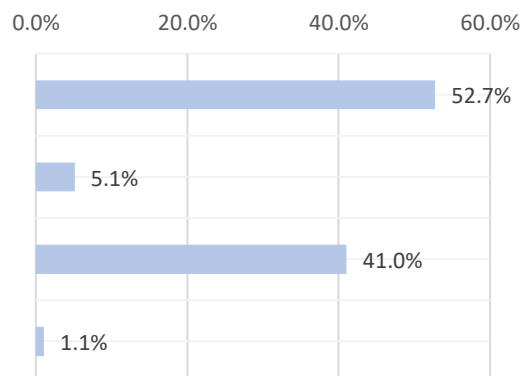
回答項目	回答数	回答者 (274名)
①収入無し	26	9.5%
②100万円未満	40	14.6%
③100～200万円未満	54	19.7%
④200～400万円未満	113	41.2%
⑤400～600万円未満	36	13.1%
⑥600～800万円未満	4	1.5%
⑦800万円以上	1	0.4%
計	274	100.0%



収入については「④200～400万円未満」の人が約41.2%と最も多く、次いで「③100～200万円」の人が約19.7%であった。

9. 婚姻状況別回答数

回答項目	回答数	回答者 (273名)
①独身（未婚）	144	52.7%
②独身（婚姻歴あり）	14	5.1%
③既婚（事実婚を含む）	112	41.0%
④近々、結婚予定	3	1.1%
計	273	100.0%

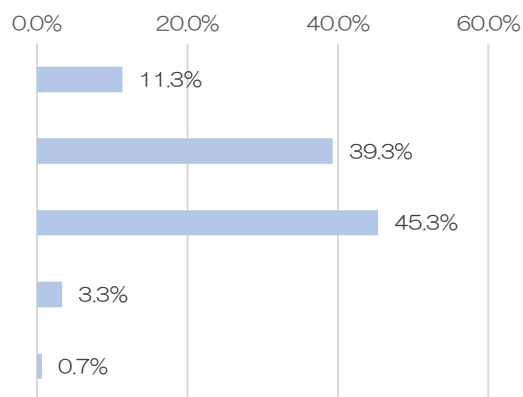


独身者の割合が約57.8%で、その内未婚は約52.7%であった。既婚者は全体の約41%であった。

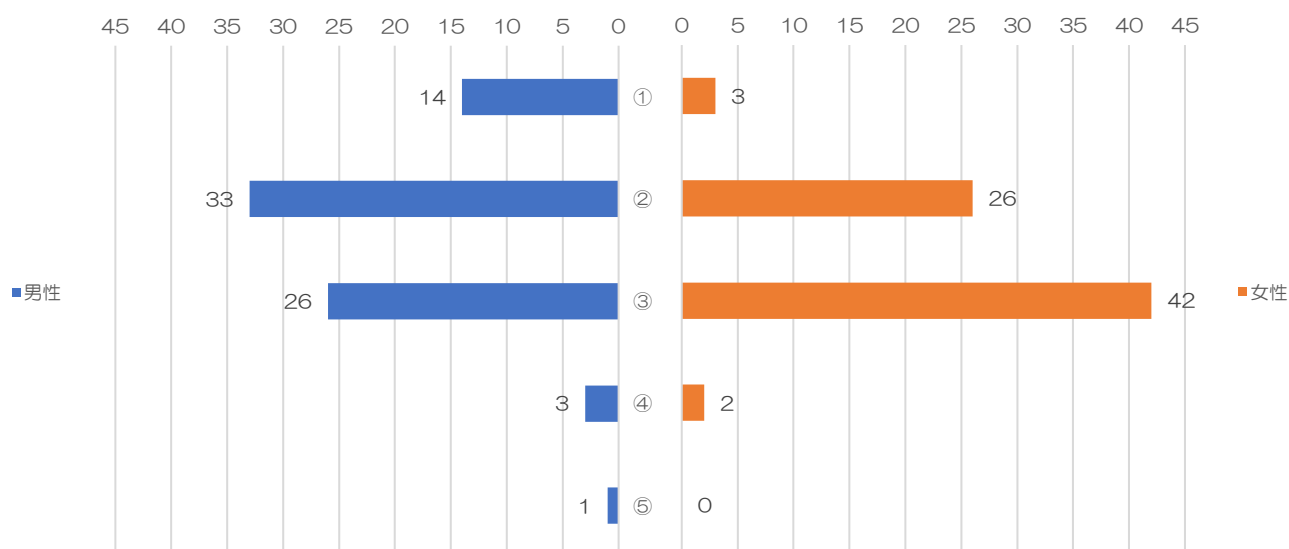
以下は「独身（未婚）」「独身（婚姻歴あり）」の方を対象として調査を行った。

問1. あなたは結婚（事実婚を含む）について、どのように考えていますか。

回答項目	回答数	有効回答 (150名)
①必ずした方が良い	17	11.3%
②できればした方が良い	59	39.3%
③してもしなくてもどちらでも良い	68	45.3%
④しない方が良い	5	3.3%
⑤その他	1	0.7%
計	150	100.0%



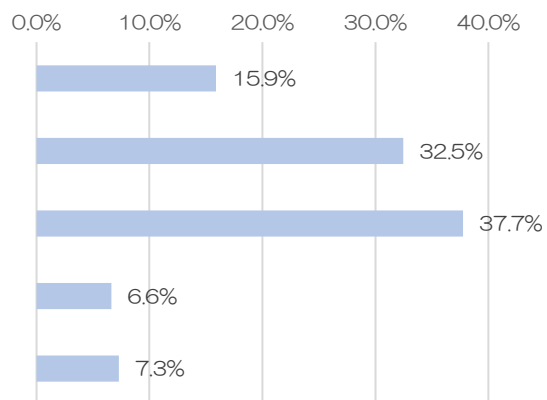
参考（男女別）



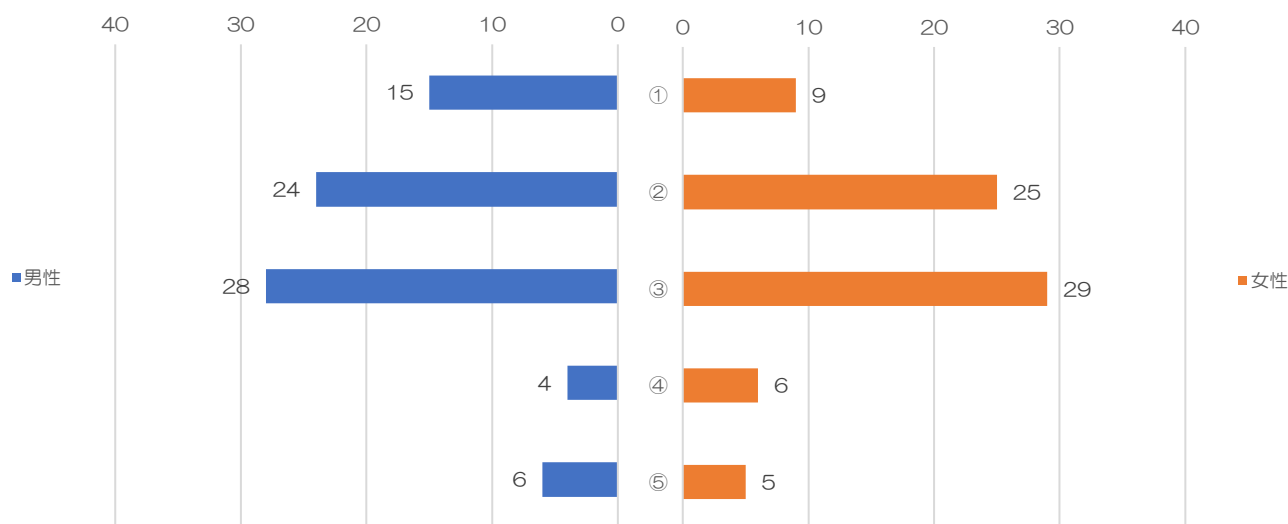
独身者に対して結婚について尋ねたところ、「③してもしなくてもどちらでも良い」が68人（約45.3%）で最も多く、次いで「②できればした方が良い」が59人（約39.3%）となった。「①必ずした方が良い」の17人を加えれば、結婚した方が良いと考える人の割合が、約50.7%となることから、半数近くの方が結婚そのものについては前向きであるとも言える。

問2. あなたは結婚（事実婚を含む）したいと考えていますか。

回答項目	回答数	有効回答 (151名)
①必ず結婚したい	24	15.9%
②できれば結婚したい	49	32.5%
③相手がいれば結婚するし、いなければ結婚しなくてもいい	57	37.7%
④分からない	10	6.6%
⑤結婚したくない	11	7.3%
計	151	100.0%



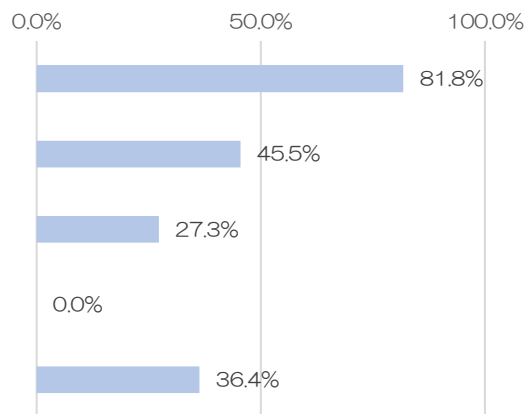
参考（男女別）



独身者に対して、自分自身は結婚したいかの意向を尋ねたところ、「①必ず結婚したい」が約15.9%で、「②できれば結婚したい」が約32.5%であった。「③相手がいれば結婚する」の約37.7%を合わせれば、全体の約86.1%の人が結婚したい意向があることが分かった。

※「⑤結婚したくない」と回答した理由

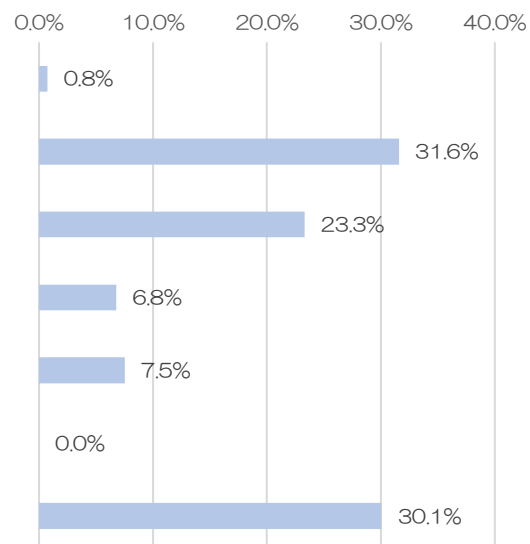
回答項目	回答数	有効回答 (11名)
ア. 結婚の必要性を感じない	9	81.8%
イ. 経済的に余裕がない	5	45.5%
ウ. 結婚を考える年齢ではない	3	27.3%
エ. 家族の介護などで忙しく、結婚したいと思わない	0	0.0%
オ. その他	4	36.4%



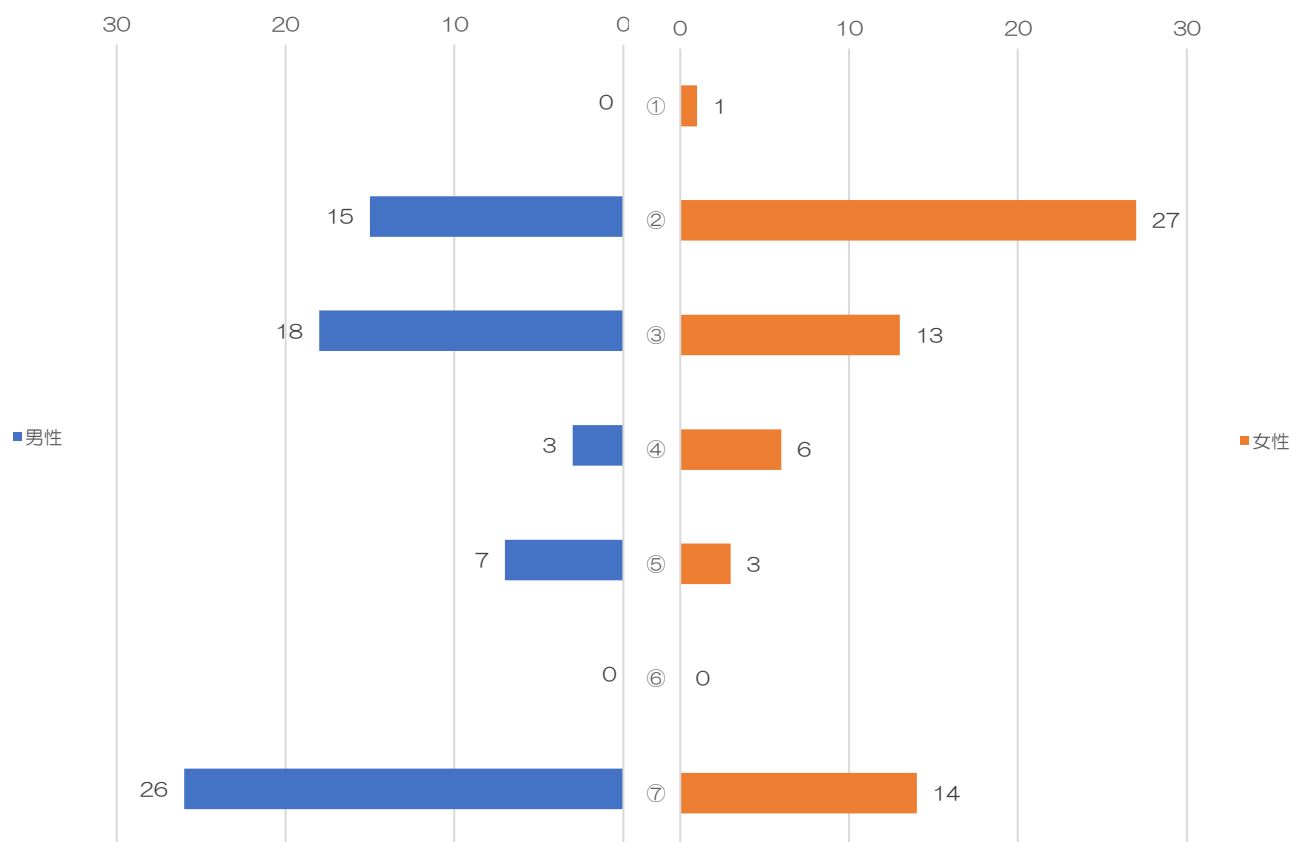
結婚したくない理由は何かを尋ねたところ、「ア.結婚の必要性を感じない」という人が最も多く約81.8%であった。

問3. いつまでに結婚をしたいと考えていますか。

回答項目	回答数	有効回答 (133名)
①24歳以下	1	0.8%
②25～30歳まで	42	31.6%
③31～35歳まで	31	23.3%
④36～40歳まで	9	6.8%
⑤41～45歳まで	10	7.5%
⑥46歳以上	0	0.0%
⑦特に年齢は意識していない	40	30.1%
計	133	100.0%



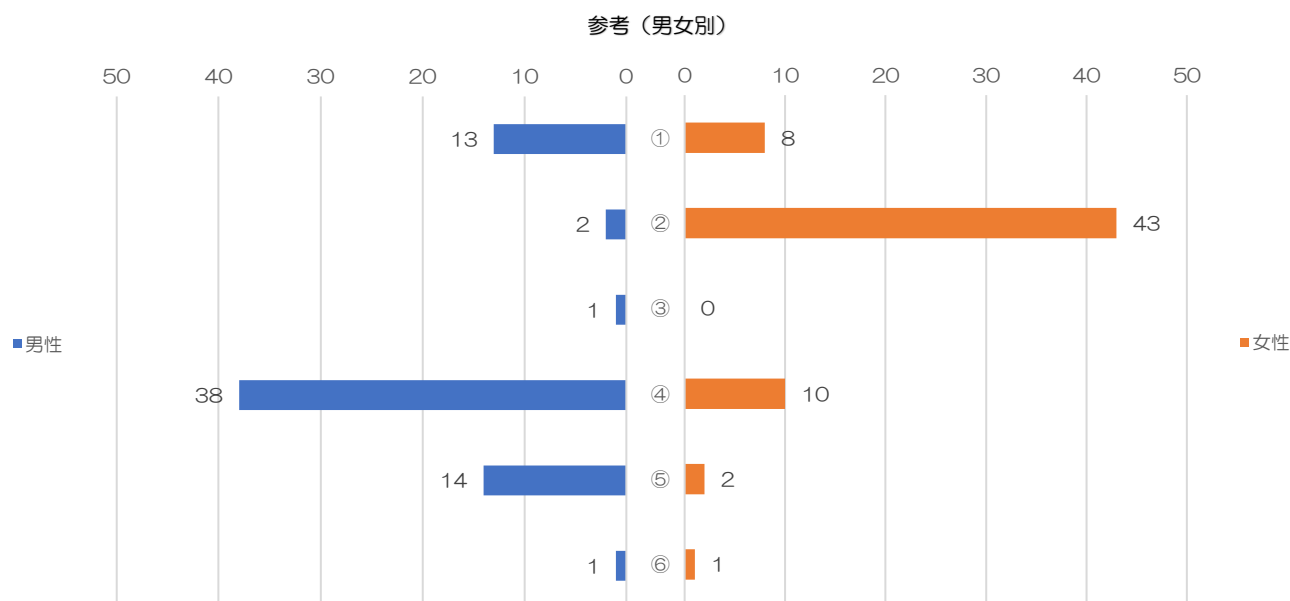
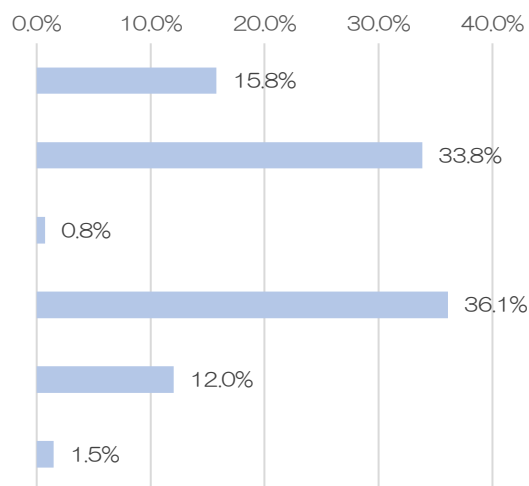
参考（男女別）



独身者に対して、理想の結婚の年代について尋ねたところ、「②25～30歳まで」が約31.6%で、「⑦特に年齢は意識していない」約30.1%であった。また結婚の願望があり、自分が思う年代に結婚したい人が約69.9%であった。

問4. 結婚相手の収入に対する希望はありますか。

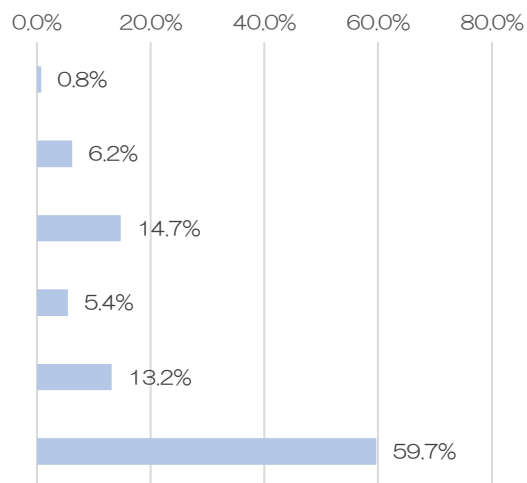
回答項目	回答数	有効回答 (133名)
①自分と同程度の収入	21	15.8%
②自分より相手の方が多くほうが良い	45	33.8%
③自分より相手の方が少ないほうが良い	1	0.8%
④こだわらない	48	36.1%
⑤特に考えたことはない	16	12.0%
⑥その他	2	1.5%
計	133	100.0%



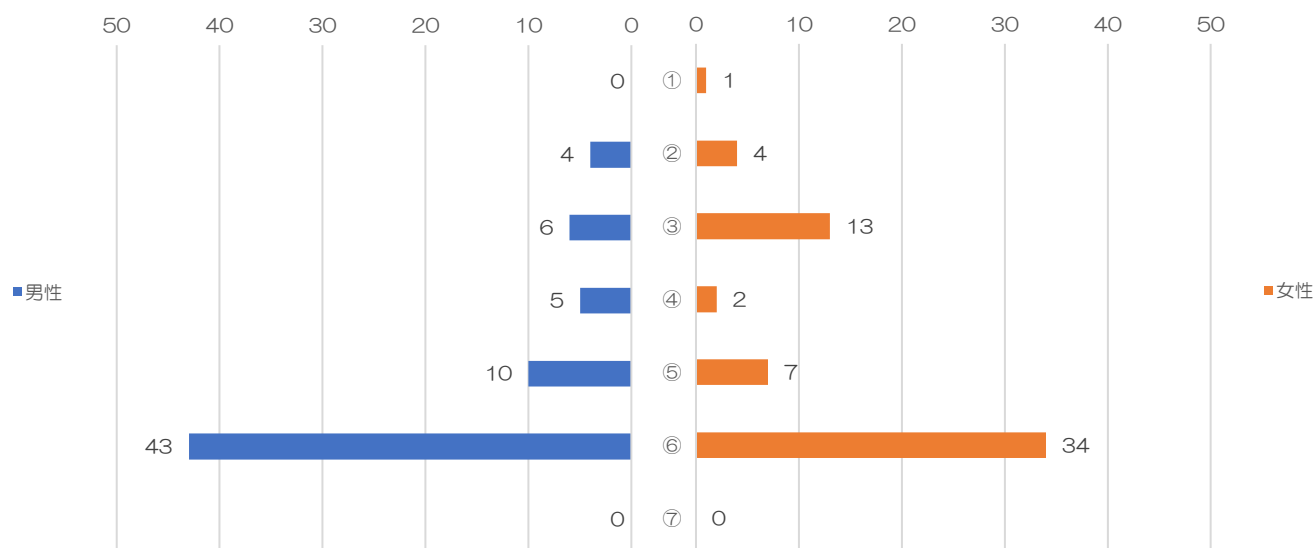
独身者に対して、結婚相手の収入について希望を尋ねたところ「④こだわらない」が約36.1%、次いで「②自分より相手の方が多くほうが良い」が約33.8%であった。しかし参考資料の男女別比率を見てみると、男性は「④こだわらない」が最も多く、女性は「②自分より相手の方が多くほうが良い」と答えた人が最も多い。男女とも「③自分より相手の方が少ないほうが良い」と希望する人は、ほとんどいないということが分かった。

問5. 結婚について、現在のあなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

回答項目	回答数	有効回答 (129名)
① 1年以内に結婚する予定がある	1	0.8%
② 時期は未定だが、結婚する予定がある	8	6.2%
③ 交際相手はあるが、結婚の予定はない	19	14.7%
④ 現在、交際相手はいないが、すぐにも結婚したい	7	5.4%
⑤ 現在、交際相手はいないが、2・3年以内に結婚したい	17	13.2%
⑥ 現在、交際相手はいないが、いずれ結婚できればよい	77	59.7%
計	129	100.0%



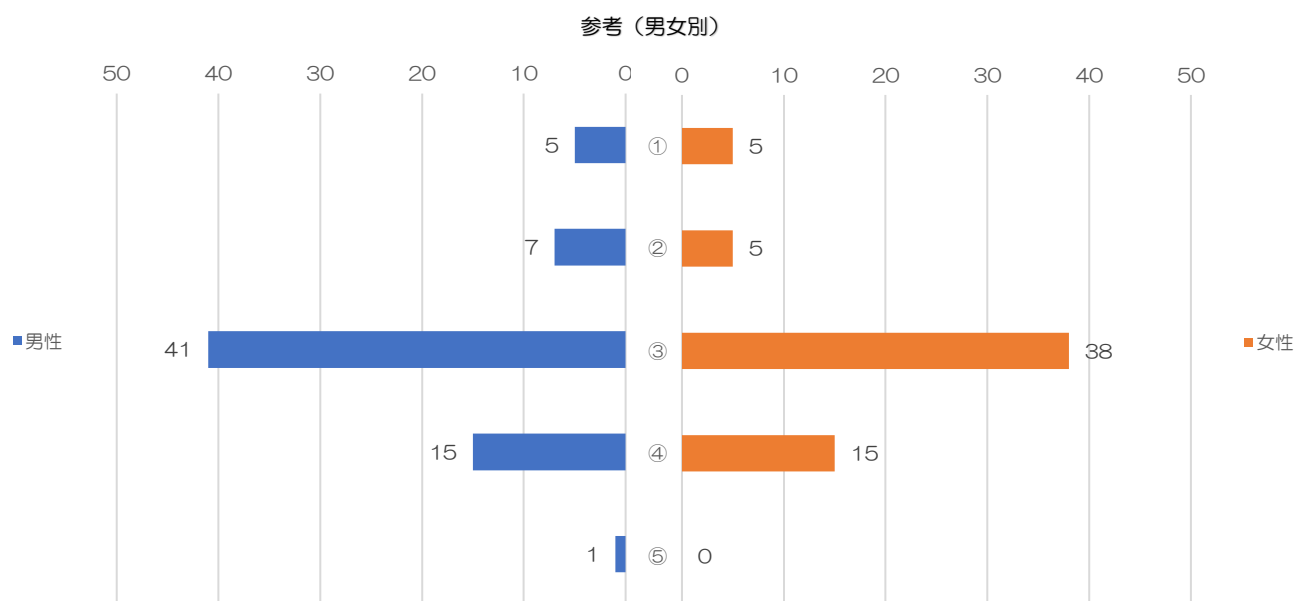
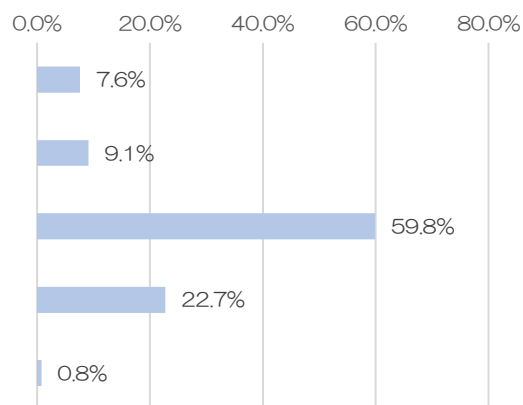
参考（男女別）



独身者に対して、結婚についての現在の状況と気持ちを探ねたところ、「⑥現在交際相手はいないが、いずれ結婚できれば良い」が最も多く約59.7%であった。交際相手がいるという人は28人（約21.7%）で、交際相手がいらない人は101人（約78.3%）だった。

問6. 普段の生活の中で、交際相手となるような人と出会う機会はありますか。

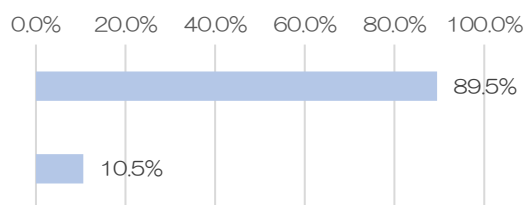
回答項目	回答数	有効回答 (132名)
①ある	10	7.6%
②少しある	12	9.1%
③ない	79	59.8%
④何とも言えない	30	22.7%
⑤その他	1	0.8%
計	132	100.0%



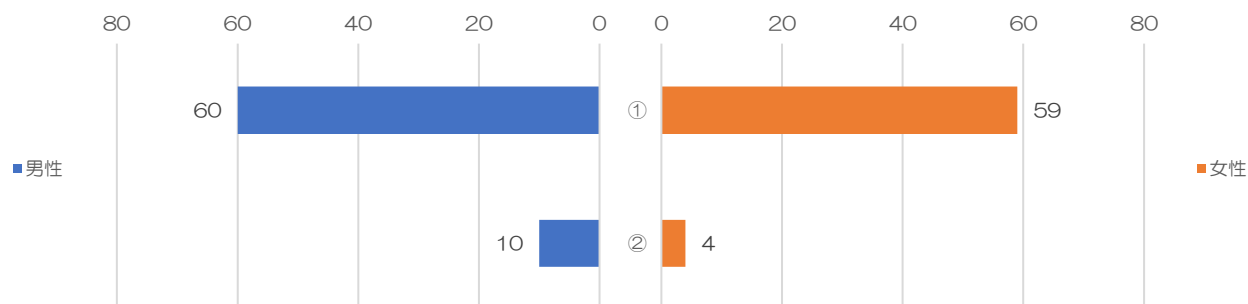
独身者に対して、普段の生活の中で、交際相手となるような人と出会う機会があるかどうかを尋ねたところ、「③ない」人が79人（約59.8%）で「④何とも言えない」が30人（約22.7%）であった。これについての男女比を見てみると、どちらもほぼ同様の割合であることが分かった。

問7. 現在婚活をしていますか。

回答項目	回答数	有効回答 (133名)
①婚活をしていない	119	89.5%
②婚活をしている	14	10.5%
計	133	100.0%



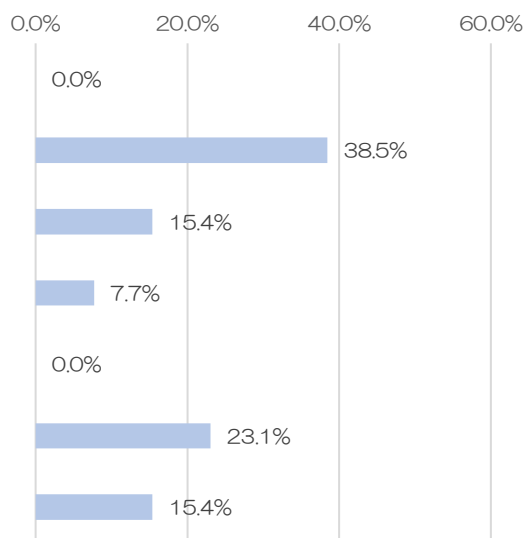
参考（男女別）



独身者に対して、婚活をしているかどうかを尋ねたところ約89.5%の人が「①していない」と答え、約10.5%の人が「②している」という答えだった。

※「②婚活をしている」→どのような婚活をしていますか。（複数回答可）

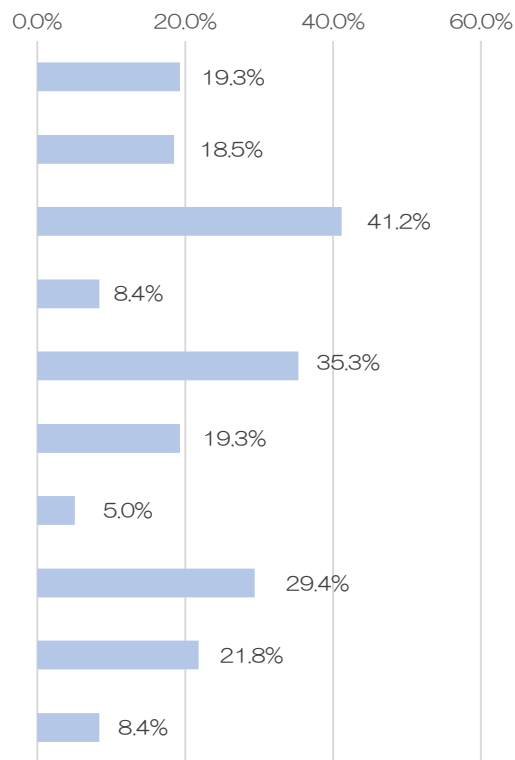
回答項目	回答数	有効回答 (13名)
①結婚相談所に登録している	0	0.0%
②マッチングアプリなどに登録している	5	38.5%
③婚活パーティーや街コンに参加している	2	15.4%
④みやマリ！に登録している	1	7.7%
⑤みやマリ！主催のイベントに参加している	0	0.0%
⑥友人に紹介してくれるようお願いしている	3	23.1%
⑦その他	2	15.4%



婚活をしている人は「②マッチングアプリに登録している」人が約38.5%と最も多く、「⑥友人に紹介してくれるようお願いしている」が約23.1%であった。

問8. 婚活をしていない理由は何ですか。（複数回答可）

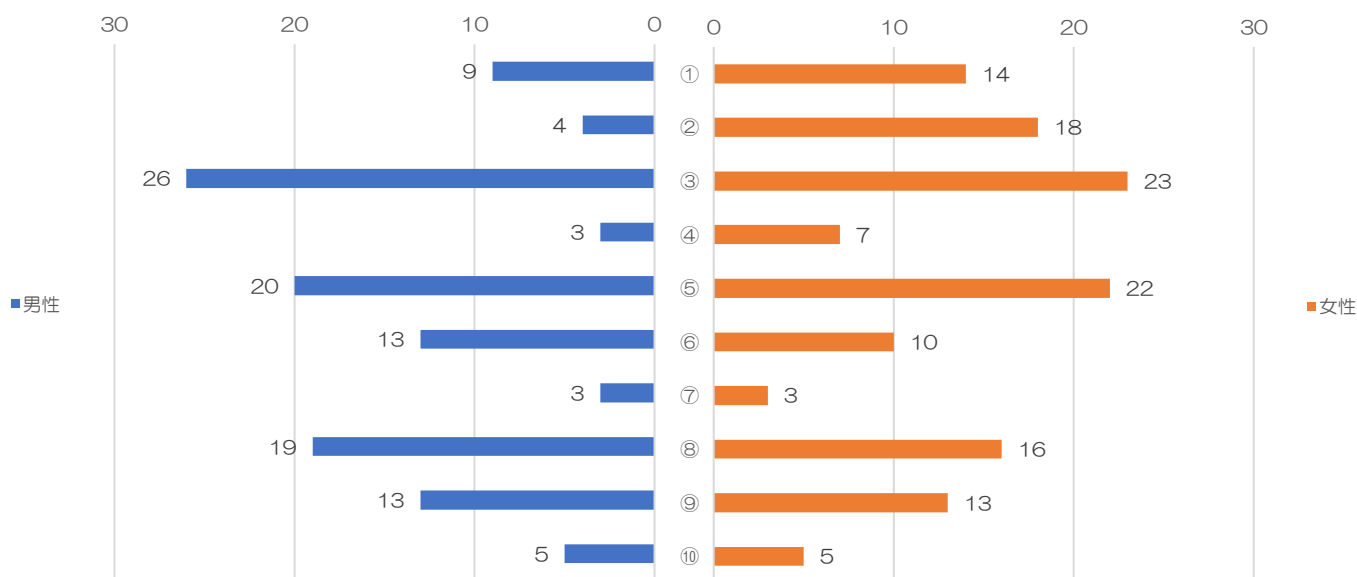
回答項目	回答数	有効回答 (119名)
①婚活に費用をかけたくないから	23	19.3%
②婚活は面倒だから	22	18.5%
③仕事や勉強が忙しいから	49	41.2%
④婚活は恥ずかしいと感じるから	10	8.4%
⑤婚活ではなく、自然に出会いたいから	42	35.3%
⑥収入が少なく、婚活をする余裕がない	23	19.3%
⑦家族の介護など、家庭の事情で婚活をする時間がない	6	5.0%
⑧活動を始めるときっかけがつかめないから	35	29.4%
⑨自分に自信がないから	26	21.8%
⑩その他	10	8.4%



婚活をしていない理由として最も多いのは「③仕事や勉強が忙しいから」で約41.2%だった。

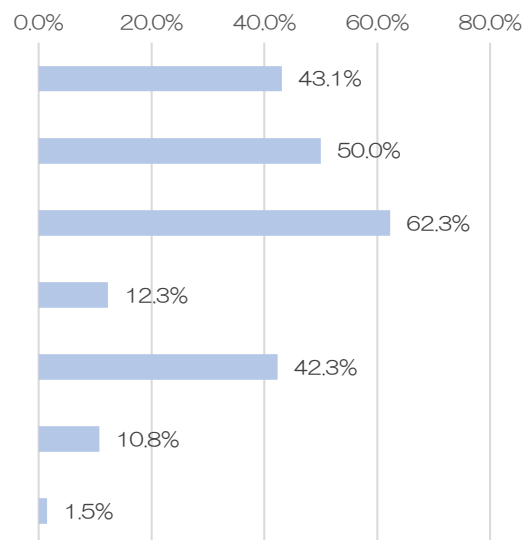
「⑤婚活ではなく自然に出会いたいから」という人が約35.3%いる事や「⑧活動を始めるときっかけがつかめないから」という人が約29.4%いることから、婚活に対する何らかの後押しがあれば結婚に対して、より前向きに変わる可能性があるとも考えられる。

参考（男女別）

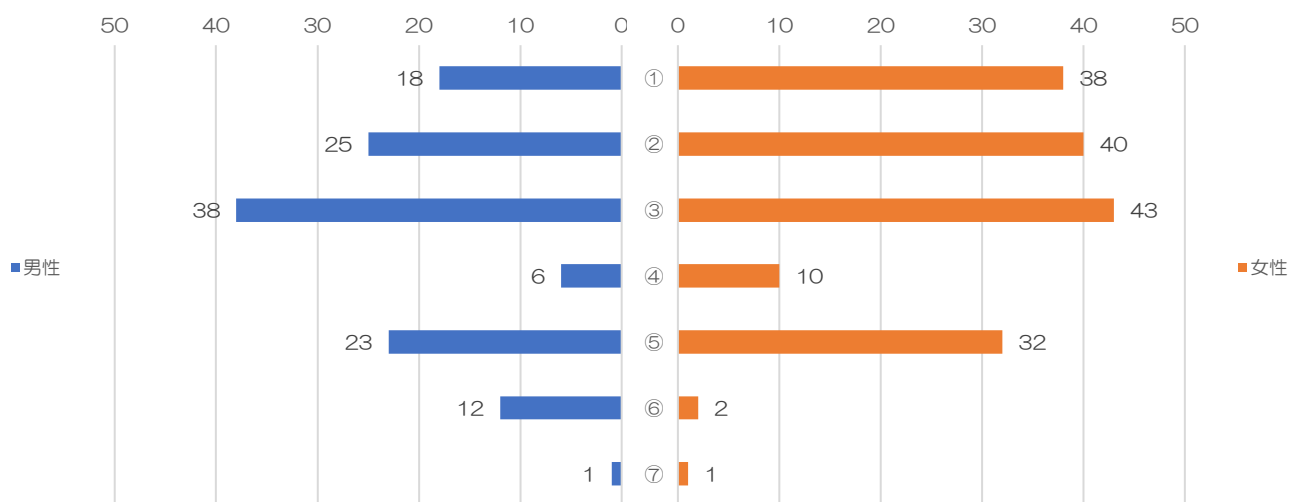


問9. 結婚を考えると、不安に感じていることは何ですか。(複数回答可)

回答項目	回答数	有効回答 (130名)
①結婚相手との家事・育児の分担	56	43.1%
②結婚相手の親族との付き合い	65	50.0%
③経済的に十分な生活ができるかどうか	81	62.3%
④今までの仕事が続けられるかどうか	16	12.3%
⑤自分の自由な時間が取れるかどうか	55	42.3%
⑥特になし	14	10.8%
⑦その他	2	1.5%



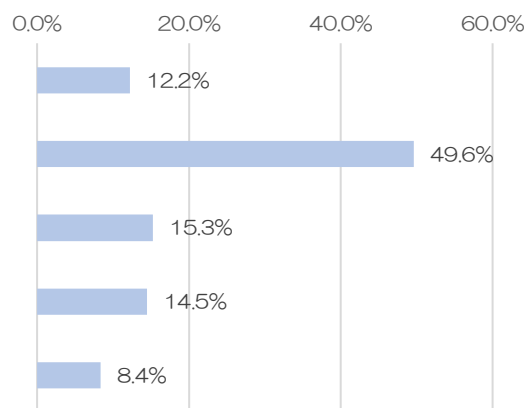
参考(男女別)



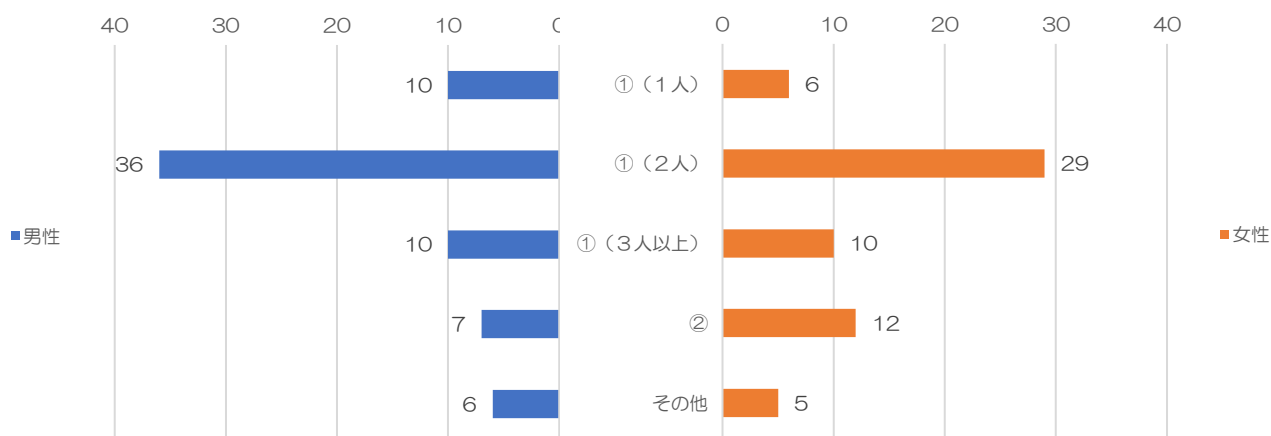
独身者に対して、「結婚を考えると、不安に感じていることは何か」を尋ねたところ、「③経済的に十分な生活ができるかどうか」が約62.3%で最も多かった。「⑥特になし」と答えた人は約10.8%だった。

問10. 結婚後、子どもが欲しいと思いますか。

回答項目	回答数	有効回答 (131名)
①欲しい (1人)	16	12.2%
欲しい (2人)	65	49.6%
欲しい (3人以上)	20	15.3%
②欲しくない	19	14.5%
③その他	11	8.4%
計	131	100.0%



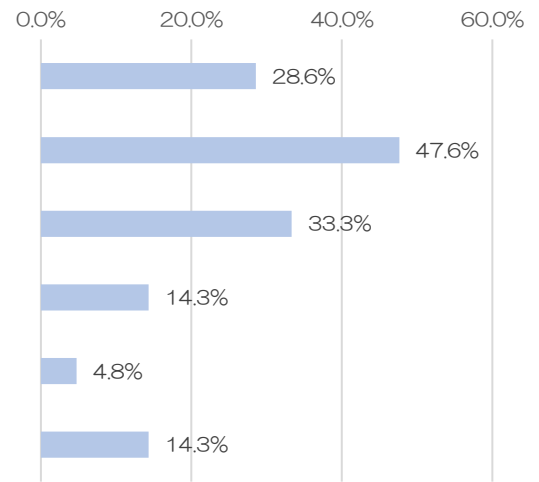
参考 (男女別)



独身者に対して、「結婚後、子どもが欲しいと思うか」を尋ねたところ、「①欲しい」と答えた人が101人（約77.1%）で「②欲しくない」と答えた人が19人（約14.5%）であった。子どもが欲しいと思う人が101人いる中で「2人欲しい」と思う人が65人（約49.6%）で最も多く、「3人以上欲しい」と思う人が20人（約15.3%）、「1人欲しい」と思う人は16人（約12.2%）であった。

※「②子どもが欲しくない」と回答した理由（複数回答可）

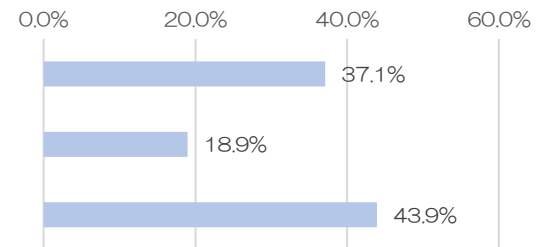
回答項目	回答数	有効回答 (19名)
ア. こどもが好きではない	6	28.6%
イ. こどもを育てることは、経済的負担が大きい	10	47.6%
ウ. 自分の自由な時間が無くなるのが不安だ	7	33.3%
エ. 出産が怖い	3	14.3%
オ. 身体的理由	1	4.8%
カ. その他	3	14.3%



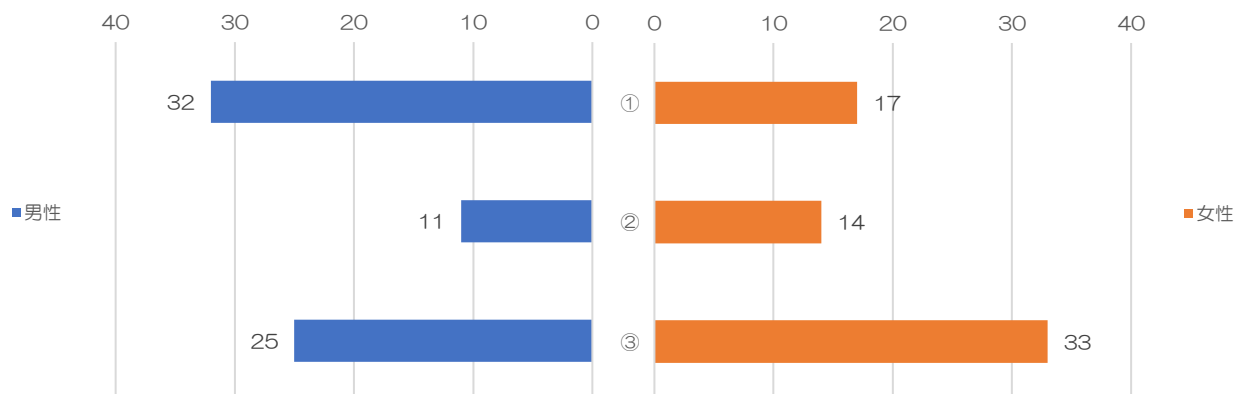
独身者に対して、「結婚後、子どもが欲しいと思うか」と尋ねたところ、「②欲しくない」と答えた人が19人だった。その理由を聞いたところ、「イ.こどもを育てることは、経済的負担が大きい」と答えた人が10人（約47.6%）で最も多かった。

問1 1. 結婚後も丸森町に住み続けたいと思いますか。

回答項目	回答数	有効回答 (132名)
①住み続けたい	49	37.1%
②住み続けたくない	25	18.9%
③どちらでもない	58	43.9%
計	132	100.0%



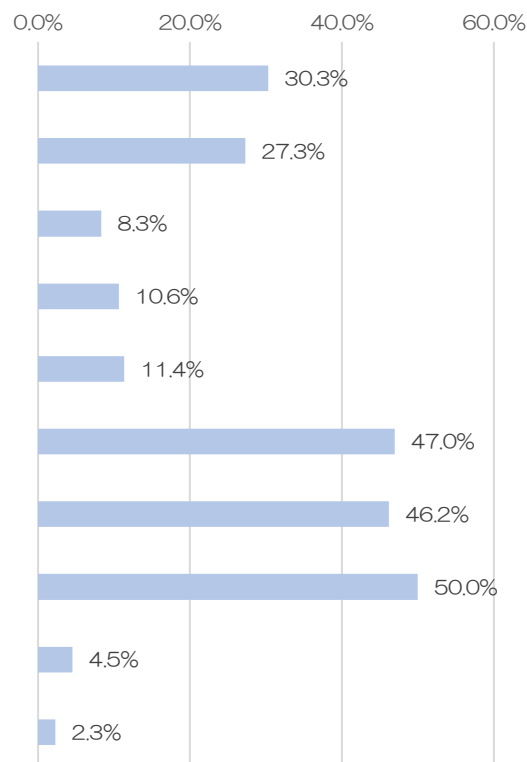
参考（男女別）



独身者に対して、「結婚後も丸森町に住みたいと思うか」を尋ねたところ、「どちらでもない」が約43.9%で最も多く、「住み続けたい」が約37.1%で「住み続けたくない」が約18.9%であった。

問12. 町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思えますか。(複数回答可)

回答項目	回答数	有効回答 (132名)
①婚活に対する経済的支援	40	30.3%
②婚活イベントなどによる出会いの場の提供	36	27.3%
③交際、結婚などのノウハウを学ぶことができる講座の開催	11	8.3%
④結婚や出産などライフプランに関する講座の開催	14	10.6%
⑤企業が行う独身社員への結婚支援活動への支援	15	11.4%
⑥結婚祝い金などの経済的支援	62	47.0%
⑦若い夫婦への住まいの支援	61	46.2%
⑧安定した雇用の場の創出	66	50.0%
⑨結婚は個人の問題であるため行政の支援は必要ない	6	4.5%
⑩その他	3	2.3%

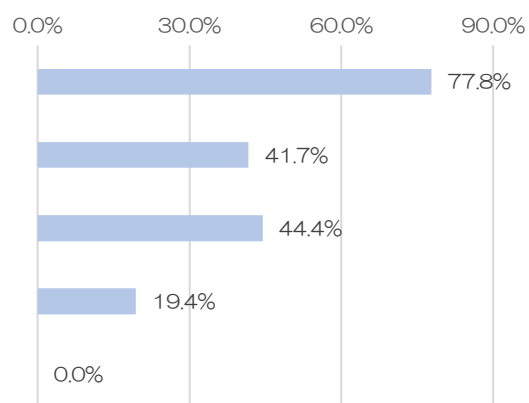


独身者に対して、「町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何か」を尋ねたところ「⑧安定した雇用の創出」「⑥結婚祝い金などの経済的支援」「⑦若い夫婦への住まいの支援」の3つを希望した割合が多く見られた。また、町が出会いの場を提供してくれることを望む人も約27.3%いることが分かった。

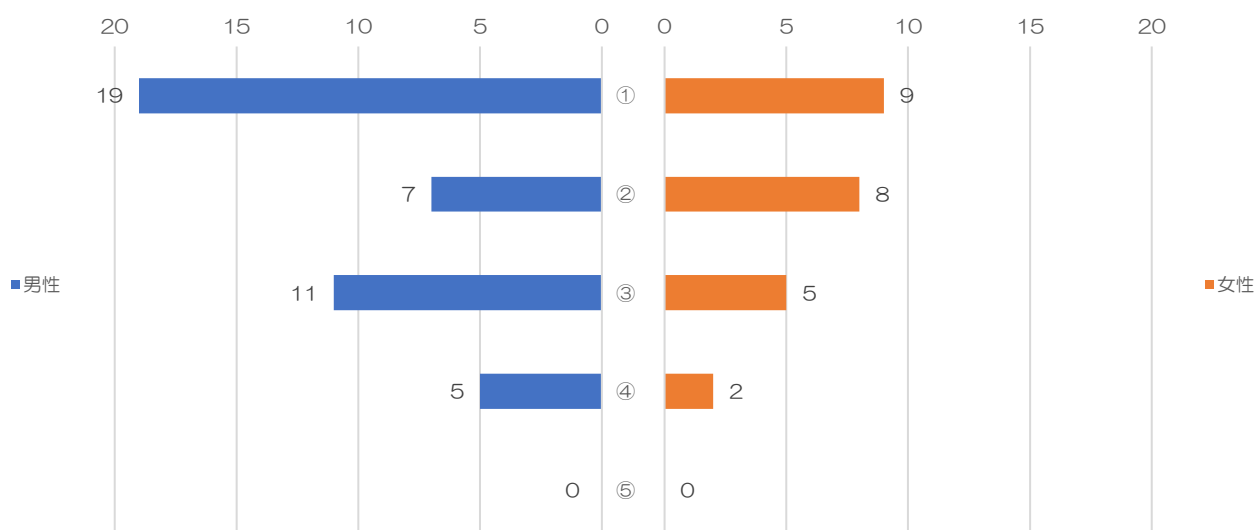
問13. どのようなイベントならあなたは参加したいと思いますか。（複数回答可）

（問12で「②」と回答した方への質問）

回答項目	回答数	有効回答 (36名)
① 飲食を中心とした交流イベント	28	77.8%
② 野球観戦やいちご狩りなど体験を中心とした交流イベント	15	41.7%
③ キャンプや山登りなどアウトドア交流イベント	16	44.4%
④ 農業体験を通じた交流イベント	7	19.4%
⑤ その他	0	0.0%



参考（男女別）

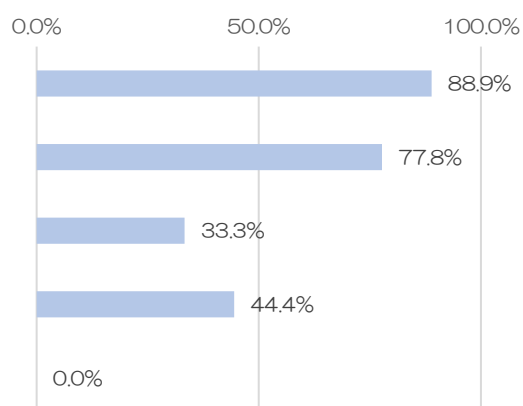


独身者に対して、「町が婚活イベントを開催するとしたら、どのようなイベントなら参加したいと思いますか」を尋ねたところ、「① 飲食を中心とした交流イベント」が約77.8%で最も多かった。

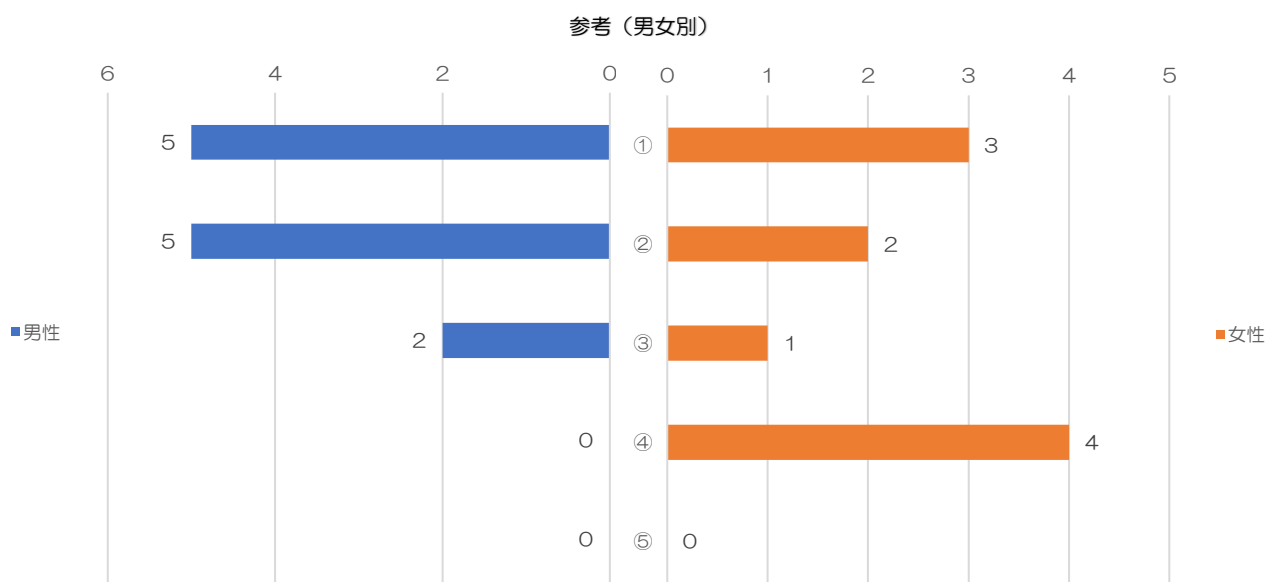
問1 4. 具体的にどのような講座ならあなたは参加したいと思いますか。(複数回答可)

(問1 2で「③」と回答した方への質問)

回答項目	回答数	有効回答 (9名)
①相手とうまく会話するための話し方 コミュニケーション講座	8	88.9%
②相手に良い印象を与えるための服装や身だしなみ などイメージアップ講座	7	77.8%
③将来設計を考えるための資産運用等のお金に関する講座	3	33.3%
④既婚者や子育て中の夫婦を講師とした、経験者の 体験を聴く講座	4	44.4%
⑤その他	0	0.0%

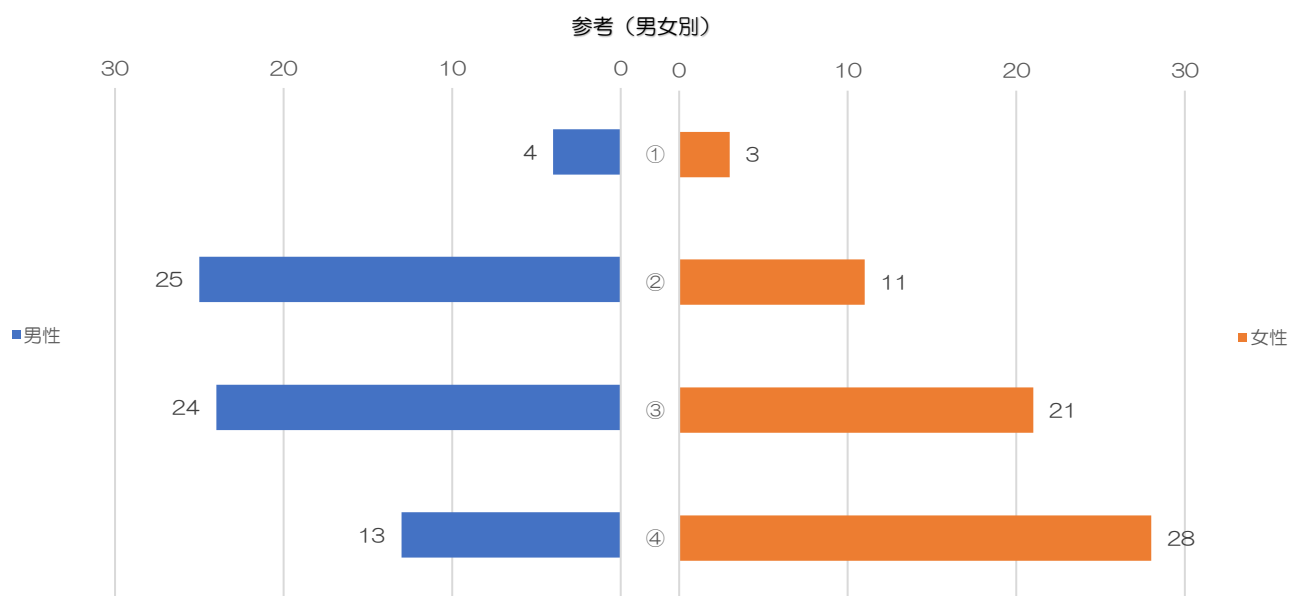
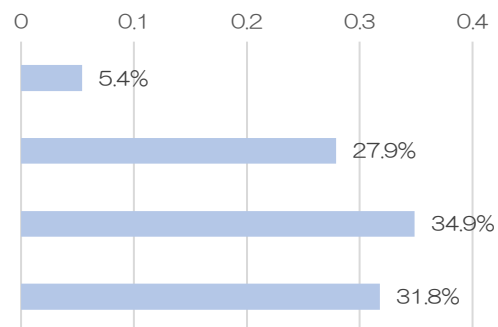


独身者に対して、「町が主催する婚活講座があるとしたら、どのような講座なら参加したいと思いますか」を尋ねたところ、コミュニケーション講座やイメージアップ講座のような、結婚相手を見つけるための準備講座に関心を持っている人が多く、特に男性が関心を持っている事が分かった。



問15. 今後、丸森町で婚活イベント等が開催された場合、参加したいと思いますか。

回答項目	回答数	有効回答 (129名)
①ぜひ参加したい	7	5.4%
②都合が合えば参加したい	36	27.9%
③どちらとも言えない	45	34.9%
④参加したくない	41	31.8%
計	129	100.0%



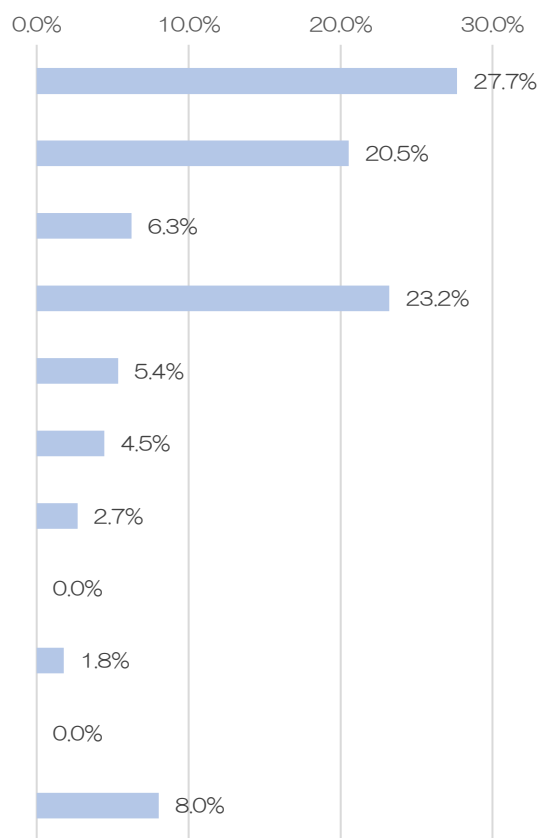
独身者に対して、「今後、丸森町で婚活イベント等が開催された場合、参加したいと思うか」を尋ねたところ、「③どちらとも言えない」が約34.9%で最も多かった。

参考資料を見ると、男性の方が婚活イベントへの参加を希望している割合が、やや高く、女性は「④参加したくない」が最も多い。

以下は「既婚」「近々、結婚予定」の方を対象として調査を行った。

問16. あなたが結婚した(する)パートナーとは、どこで知り合いましたか。

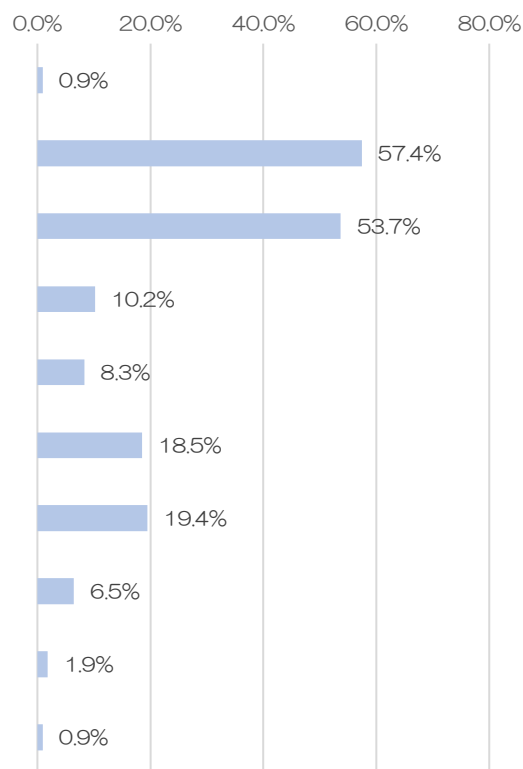
回答項目	回答数	有効回答 (112名)
①同じ会社、勤め先	31	27.7%
②学校、同窓会	23	20.5%
③仕事の取引先、関係先	7	6.3%
④友人や知人の紹介	26	23.2%
⑤SNS	6	5.4%
⑥趣味のサークル	5	4.5%
⑦婚活パーティーやイベント	3	2.7%
⑧お見合い	0	0.0%
⑨合コン	2	1.8%
⑩結婚相談所	0	0.0%
⑪その他	9	8.0%
計	112	100.0%



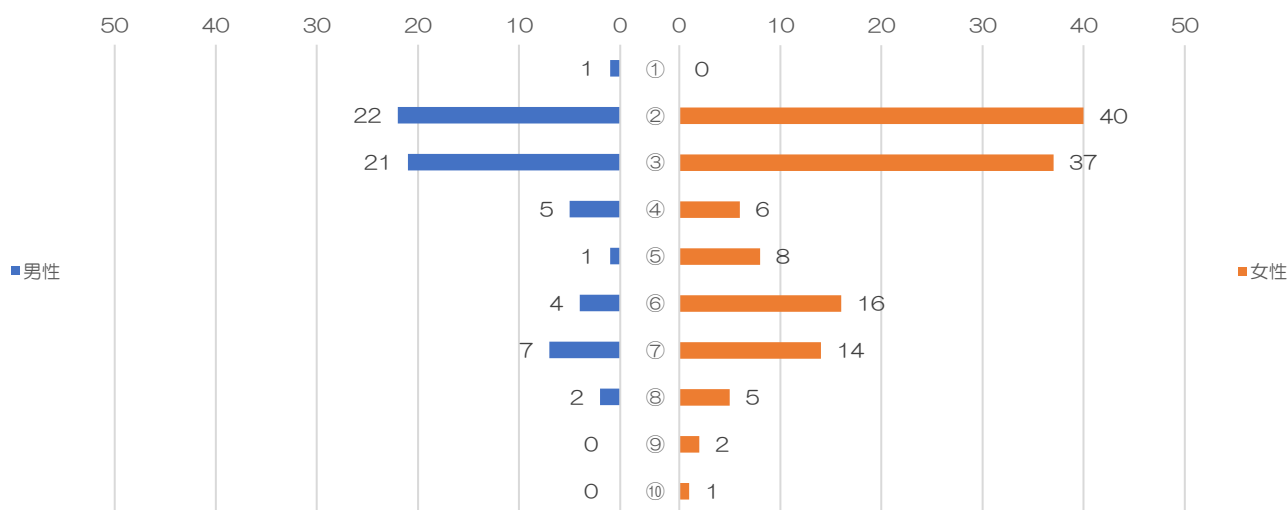
既婚者（事実婚含む）、結婚予定の人に対して「パートナーとはどこで知り合ったのか」を尋ねたところ、「①同じ会社、勤め先」が27.7%で最も多かった。次いで「④友人や知人の紹介」が約23.2%であった。

問17. あなたが最終的に結婚を決めた時のきっかけは、何ですか。（複数回答可）

回答項目	回答数	有効回答 (108名)
①結婚資金が出来たから	1	0.9%
②年齢的に、適当な時期だと感じたから	62	57.4%
③一緒に暮らしたかったから	58	53.7%
④収入や住居など、結婚生活のための経済的基盤が出来たから	11	10.2%
⑤自分または相手の仕事の事情	9	8.3%
⑥できるだけ早く、子どもが欲しかったから	20	18.5%
⑦子どもが出来たから	21	19.4%
⑧友人や同年代の人の結婚の影響	7	6.5%
⑨親や周囲の方の勧め	2	1.9%
⑩その他	1	0.9%



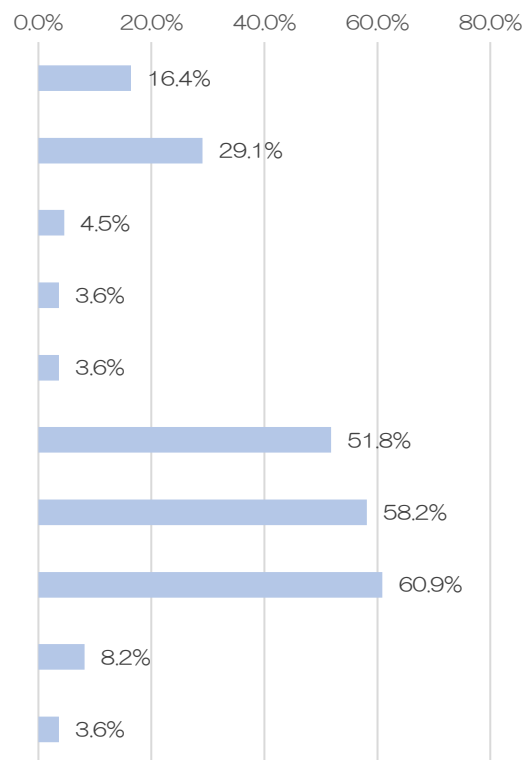
参考（男女別）



既婚者（事実婚含む）、結婚予定の人に対して「あなたが最終的に結婚を決めたきっかけは何か」を尋ねたところ「②年齢的に適当な時期だと感じたから」が約57.4%で最も多く、「③一緒に暮らしたかったから」が約53.7%であった。

問18. 町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか。（複数回答可）

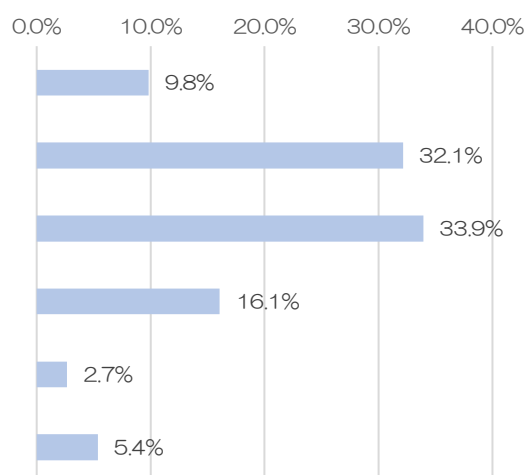
回答項目	回答数	有効回答 (110名)
①婚活に対する経済的支援	18	16.4%
②婚活イベントなどによる出会いの場の提供	32	29.1%
③交際、結婚などのノウハウを学ぶことができる講座の開催	5	4.5%
④結婚や出産などライフプランに関する講座の開催	4	3.6%
⑤企業が行う独身社員への結婚支援活動への支援	4	3.6%
⑥結婚祝い金などの経済的支援	57	51.8%
⑦若い夫婦への住まいの支援	64	58.2%
⑧安定した雇用の場の創出	67	60.9%
⑨結婚は個人の問題であるため、行政の支援は必要ない	9	8.2%
⑩その他	4	3.6%



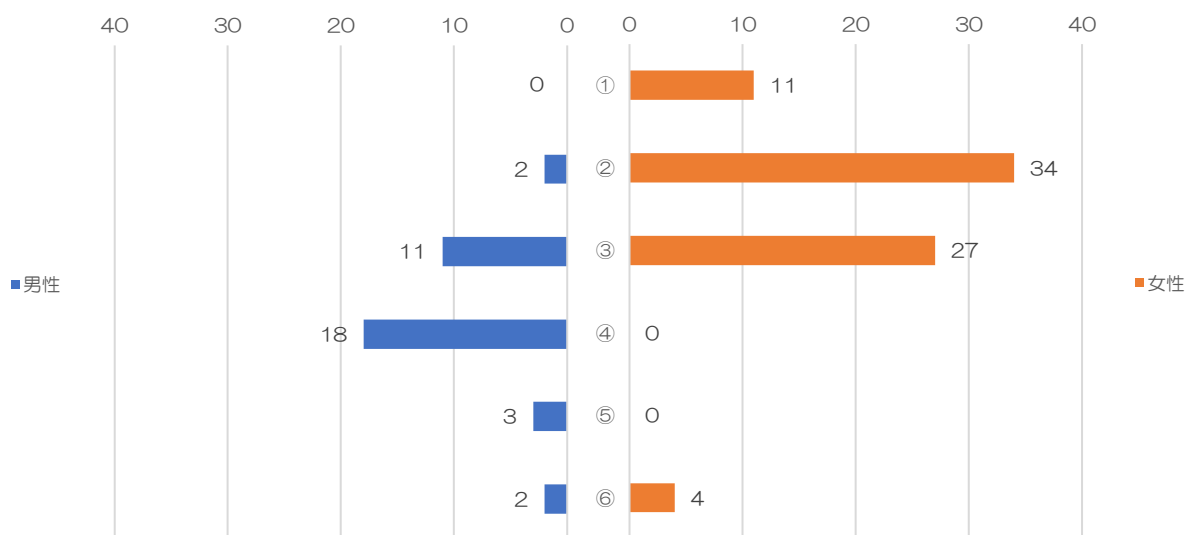
既婚者（事実婚含む）、結婚予定の人に対して、町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だ
 と思うかを尋ねたところ、「⑧安定した雇用の創出」が約60.9%と最も多いことが分かった。
 また「⑦若い夫婦への住まいの支援」と「⑥結婚祝い金などの経済的支援」も希望が多いことが分
 かった。

問19. 結婚後の「家事」について、現状をお答えください。近々結婚予定の方は現在の考えをお答えください。

回答項目	回答数	有効回答 (112名)
①全て自分が行っている	11	9.8%
②主に自分が行っているが、パートナーが行っているところもある	36	32.1%
③家事は分担している	38	33.9%
④主にパートナーが行っているが、自分が行っているところもある	18	16.1%
⑤全てパートナーが行っている	3	2.7%
⑥その他	6	5.4%
計	112	100.0%



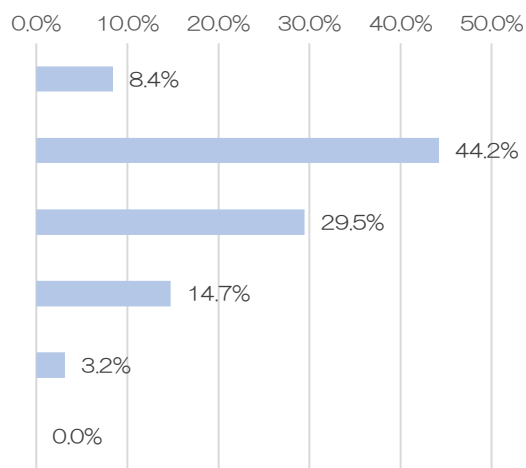
参考（男女別）



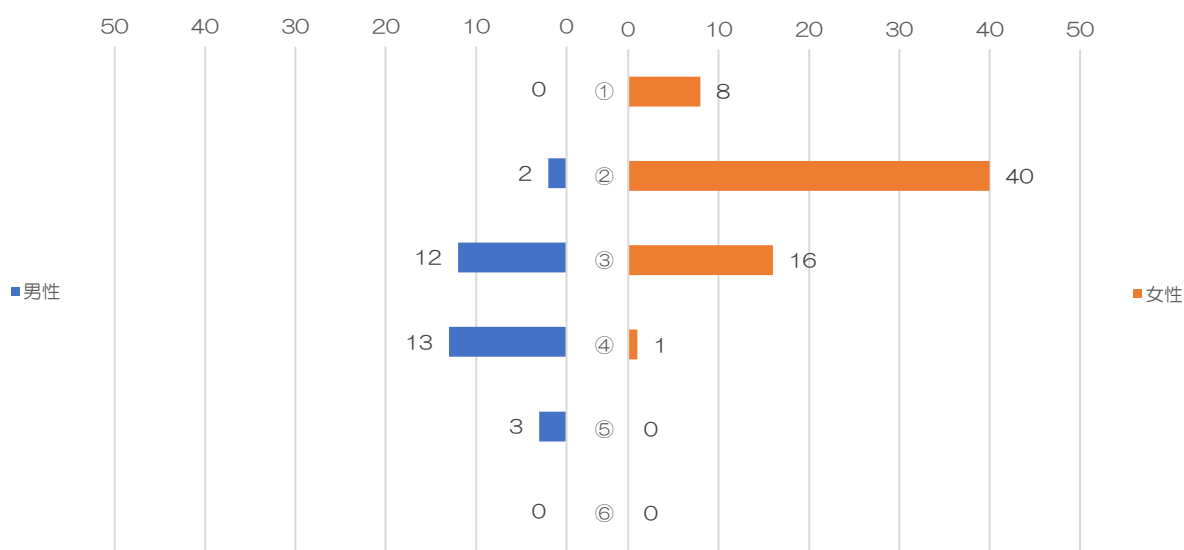
既婚者（事実婚含む）、結婚予定の人に対して「結婚後の家事についての現状（結婚予定の人は現在の考え）」を尋ねたところ、「③家事は分担している」が約33.9%で最も多かった。

問20. こどもがいる方のみお答えください。「育児」について、現状をお答えください。

回答項目	回答数	有効回答 (95名)
①全て自分が行っている	8	8.4%
②主に自分が行っているが、パートナーが行うこともある	42	44.2%
③育児は分担している	28	29.5%
④主にパートナーが行っているが、自分が行うこともある	14	14.7%
⑤全てパートナーが行っている	3	3.2%
⑥その他	0	0.0%
計	95	100.0%



参考（男女別）



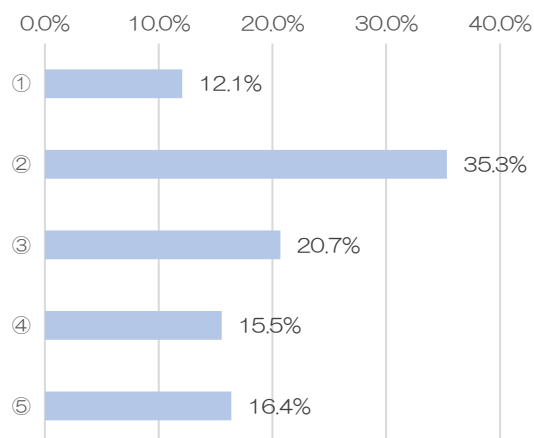
こどもがいる人に「育児の現状」について尋ねたところ、「②主に自分が行っているが、パートナーが行うこともある」人が約44.2%で最も多かった。またその状況は参考資料から、女性に多い傾向があることが分かった。

問2 1. こどもがいる方のみお答えください。こどもがいて良かったと思うこと、つらいと感じることをそれぞれお答えください。

※意見を集約したうえで記載しております。詳細については「全体編」をご覧ください。

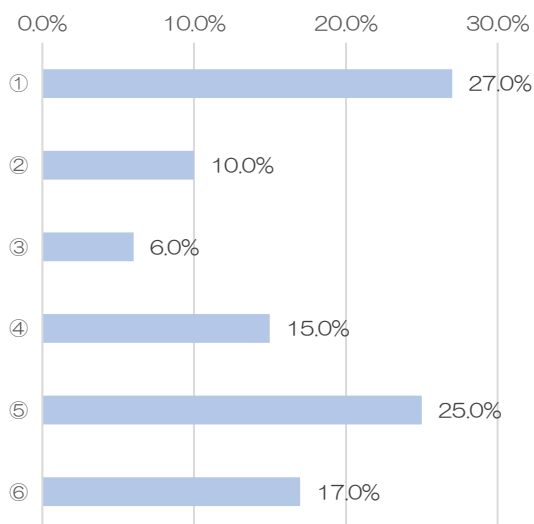
【こどもがいて良かったこと】

回答項目	回答数	有効回答 (116名)
①人生が楽しくなる	14	12.1%
②幸せを感じる、癒さる	41	35.3%
③こどもの成長が楽しみである（生きがい含む）	24	20.7%
④自分自身が成長できる	18	15.5%
⑤その他	19	16.4%
合計	116	100.0%



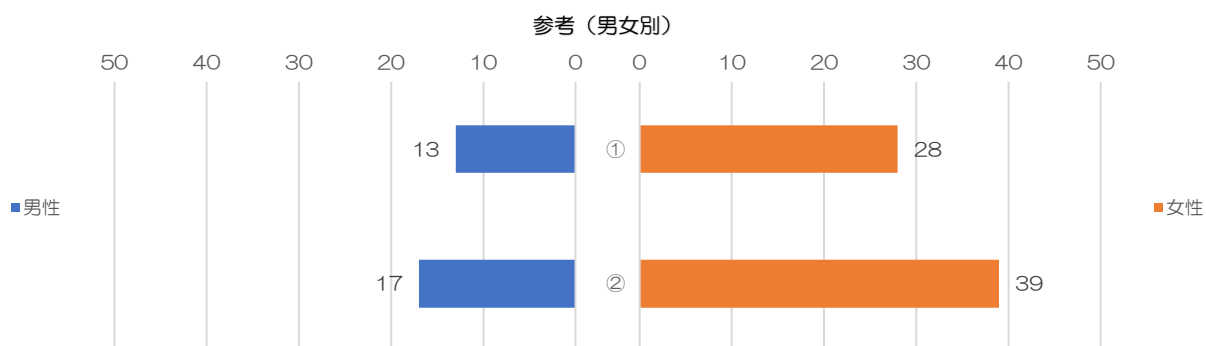
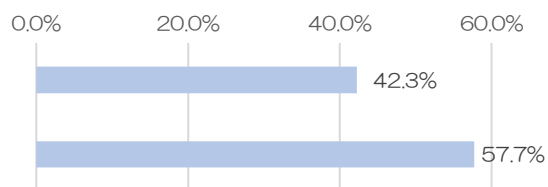
【こどもがいてつらいと感じること】

回答項目	回答数	有効回答 (100名)
①子育てに関する悩み	27	27.0%
②仕事への影響	10	10.0%
③通院の負担	6	6.0%
④経済的負担の悩み	15	15.0%
⑤自分自身への負担（自分の時間がない、ワンオペなど）	25	25.0%
⑥その他	17	17.0%
合計	100	100.0%



問22. こどもがいる方のみお答えください。もう一人こどもが欲しいと思うときはありますか。

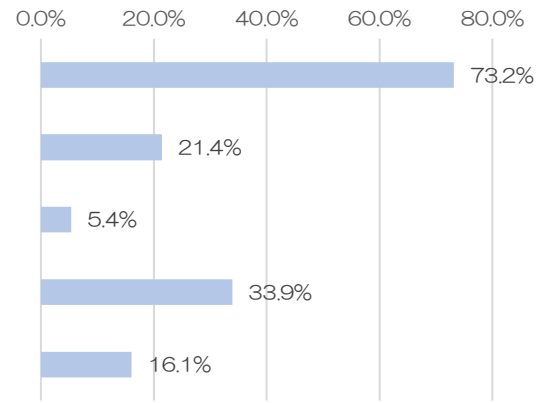
回答項目	回答数	有効回答 (97名)
①ある	41	42.3%
②ない	56	57.7%
計	97	100.0%



こどもがいる人に「もう一人こどもが欲しいと思う時があるか」について尋ねたところ、「①ある」と答えた人が約42.3%、「②ない」と答えた人が約57.7%であった。

②もう一人子どもが欲しいと思わない理由（複数回答可）

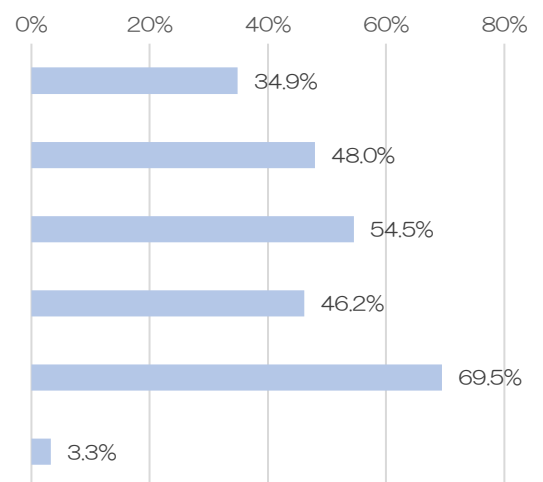
回答項目	回答数	有効回答 (56名)
ア. 子どもを育てることは、経済的負担が大きい	41	73.2%
イ. 自分の自由な時間が無くなる事が不安だ	12	21.4%
ウ. 出産が怖い	3	5.4%
エ. 身体的理由	19	33.9%
オ. その他	9	16.1%



以下は全員の方を対象として調査を行った。

問23. あなたは少子化対策に関し、どのような考えを持っていますか。（複数回答可）

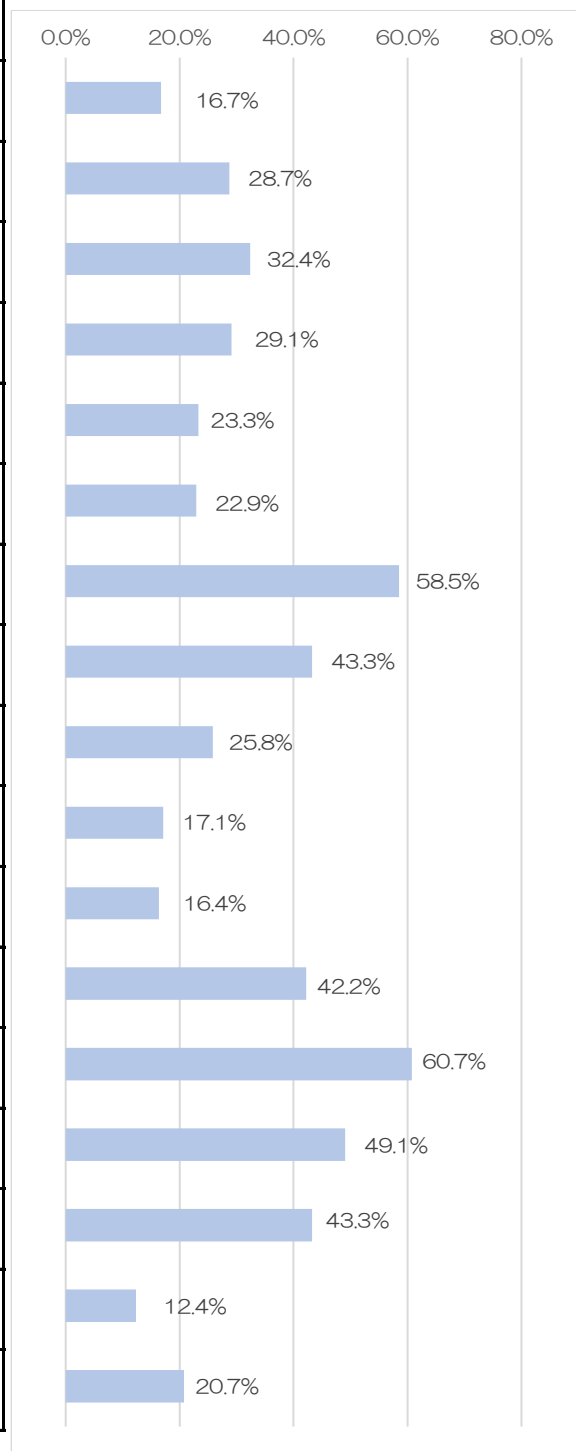
回答項目	回答数	有効回答 (275名)
①結婚や出産そのものを奨励すべきだと思う	96	34.9%
②保育施設など地域における子育て支援サービスを充実すべきだと思う	132	48.0%
③職場における仕事と子育ての両立のための取組みを充実すべきだと思う	150	54.5%
④安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきだと思う	127	46.2%
⑤子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取組みを充実すべきだと思う	191	69.5%
⑥対策は行わなくてよい	9	3.3%



少子化対策について、どのような考えを持っているかを尋ねたところ、「⑤子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取組み」が必要と感じる人が約69.5%で、最も多かった。「⑥対策は行わなくてよい」と回答したのが約3.3%だったことから、何らかの対策を必要と感じている人が大半であることが分かった。

問24. 丸森町が実施している結婚・子育て支援策について、ご存じのものは何ですか。(複数回答可)

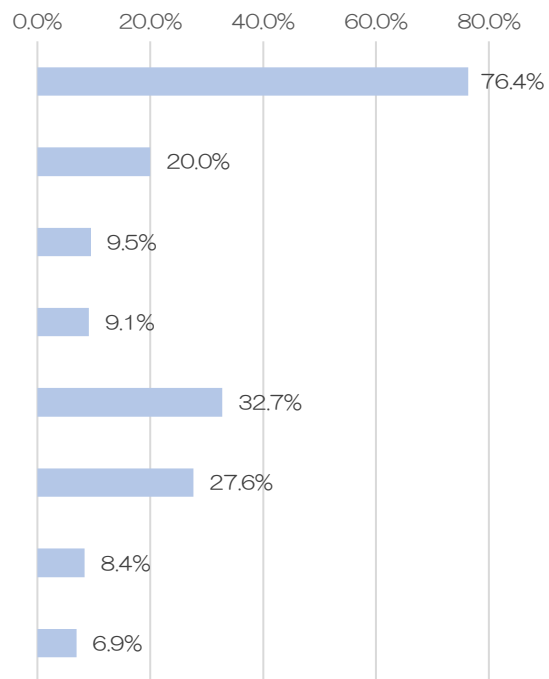
回答項目	回答数	有効回答 (275名)
①婚姻推進活動費用助成金（結婚相談所等の入会費・月会費・成婚料に対する助成）	46	16.7%
②結婚新生活支援事業補助金（新婚夫婦が対象の引越や住宅賃借費用に対する助成）	79	28.7%
③妊娠祝金（3万円分ギフト券） 出産祝金（10万円）	89	32.4%
④WARASKOサロン（妊産婦やそのご家族を対象にした沐浴練習やベビーマッサージ講座など）	80	29.1%
⑤まるもりすくすくナビ（母子モ） アプリ（電子母子手帳アプリ）	64	23.3%
⑥産婦人科・小児科オンライン相談（医師・助産師によるオンライン医療相談サービス）	63	22.9%
⑦子ども医療費助成 （18歳までのこどもの医療費を全額助成）	161	58.5%
⑧第2子以降の保育料無料化 （第2子以降の児童に係る保育料等の助成）	119	43.3%
⑨小学校入学祝金（3万円）	71	25.8%
⑩家事育児支援サービス利用費用助成（未就学児家庭に5万円分のサービス利用クーポンを交付）	47	17.1%
⑪一時保育利用費用助成（一時保育利用券の配付）	45	16.4%
⑫子育て支援センター（こりす園、おひさまひろば）	116	42.2%
⑬放課後児童クラブ	167	60.7%
⑭学校給食費無償化	135	49.1%
⑮季節性インフルエンザ予防接種費用の助成 （6か月～18歳までの接種費用を全額助成）	119	43.3%
⑯不妊治療費助成	34	12.4%
⑰どれも知らない	57	20.7%



丸森町が実施している結婚・子育て支援策について、知っているものはどれかを尋ねたところ、「⑬放課後児童クラブ」が約60.7%で最も多かった。「⑰どれも知らない」という人が約20.7%ということから、何らかの支援策を知っているという認知度は約79.3%ということが分かった。

問25. 丸森町が実施している事業やイベントなどの情報はどこから得ますか。（複数回答可）

回答項目	回答数	有効回答 (275名)
①広報まるもり	210	76.4%
②町ホームページ	55	20.0%
③町公式Facebook	26	9.5%
④新聞・ラジオ	25	9.1%
⑤家族	90	32.7%
⑥友人・知人	76	27.6%
⑦その他	23	8.4%
⑧得ていない	19	6.9%

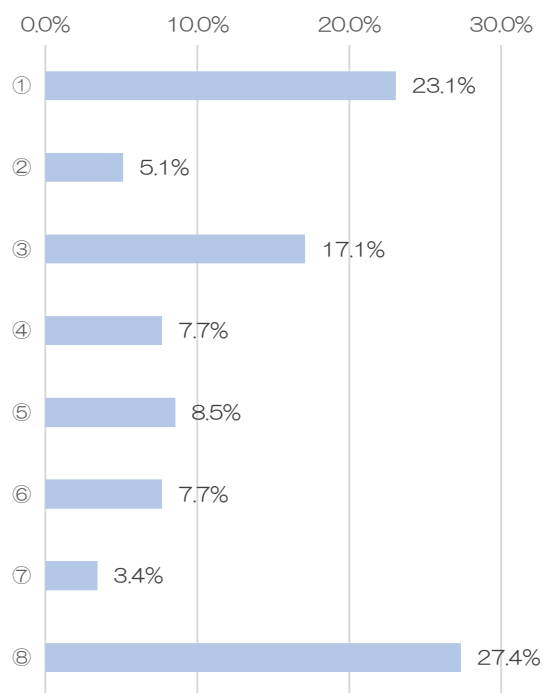


丸森町が実施している事業やイベントなどの情報はどこから得るのかを尋ねたところ、「①広報まるもり」が約76.4%で最も多かった。このことから同誌の購読率が実に高いことが分かった。また「⑧情報を得ていない」という人は約6.9%ということから、大半の人が何らかの形で町の情報を得ているということも分かった。

町の結婚・婚活・子育て支援についてのご意見。

※意見を集約したうえで記載しております。詳細については「全体編」をご覧ください。

回答項目	回答数	有効回答 (117名)
①公園等の施設に関すること	27	23.1%
②教育に関すること	6	5.1%
③医療に関すること	20	17.1%
④雇用・収入に関すること	9	7.7%
⑤経済的支援に関すること	10	8.5%
⑥結婚、出会いに関すること	9	7.7%
⑦買い物、交通等生活に関すること	4	3.4%
⑧その他	32	27.4%
合計	117	100.0%



全体考察と今後の課題・総括

《全体考察》

- 回答者の性別は、女性が154人（約56%）で、男性が113人（約41.1%）となった。
- 回答者の年齢は、35～39歳、40～44歳が合わせて139人（約50.8%）で多い傾向だった。
- 回答者の職業は正規社員・職員が最も多く回答者275人に対し155人（約56.4%）だった。
- 回答者の婚姻歴については、未婚の独身者が最も多く144人（約52.7%）で、既婚者は112人（約41%）であった。
- 独身者に対して結婚の意向を尋ねたところ、5項目のうち上位は以下の通り。
 - 1、相手がいれば結婚するし、いなければ結婚しなくても良い。 57人（約37.7%）
 - 2、できれば結婚したい。 49人（約32.5%）
 - 3、必ず結婚したい。 24人（約15.9%）
- 理想の結婚の年齢について尋ねたところ、7項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、25～30歳まで 42人（約31.6%）
 - 2、特に年齢は意識していない 40人（約30.1%）
 - 3、31～35歳まで 31人（約23.3%）
- 結婚相手に求める収入に対する希望について尋ねたところ6項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、こだわらない 48人（約36.1%）
 - 2、自分より相手の方が多いほうが良い 45人（約33.8%）
 - 3、自分と同程度の収入 21人（約15.8%）
- 独身者に対して、結婚についての状況と現在の気持ちについて尋ねたところ、7項目のうち上位は以下の通り。
 - 1、現在、交際相手はいないが、いずれ結婚できれば良い 77人（約59.7%）
 - 2、交際相手はいるが、結婚の予定は無い 19人（約14.7%）
 - 3、現在、交際相手はいないが、2・3年以内に結婚したい 17人（約13.2%）
- 独身者に対して、普段の生活の中で交際相手となるような人と出会う機会があるかどうかを尋ねたところ、5項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、ない 79人（約59.8%）
 - 2、なんとも言えない 30人（約22.7%）
 - 3、少しある 12人（約9.1%）
- 婚活の状況を尋ねたところ、婚活をしているのが14人（約10%）で婚活をしていないのが119人（89.5%）だった。婚活をしてない理由を尋ねたところ、10項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、仕事や勉強が忙しいから 49人（約41.2%）
 - 2、婚活ではなく、自然に出会いたいから 42人（約35.3%）
 - 3、活動を始めるきっかけがつかめないから 35人（約29.4%）
- どのようなイベントなら参加したいと思うかを尋ねたところ、5項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、飲食を中心とした交流イベント 28人（約77.8%）
 - 2、野球観戦やいちご狩りなど体験を中心としたイベント 15人（約41.7%）
 - 3、キャンプや山登りなどアウトドア交流イベント 16人（約44.4%）

- どのような講座なら参加したいと思うかを尋ねたところ、5項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、相手とうまく会話するための話し方・コミュニケーション講座 8人（約88.9%）
 - 2、相手に良い印象を与えるための服装や身だしなみなどイメージアップ講座 7人（約77.8%）
 - 3、既婚者や子育て中の夫婦を講師とした、経験者の体験を聴く講座 4人（約44.4%）
- 独身者に対して、イベントへの参加意向を尋ねたところ、4項目のうち上位は以下のとおり。
 - 1、どちらとも言えない 45人（約34.9%）
 - 2、参加したくない 41人（約31.8%）
 - 3、都合が合えば参加したい 36人（約27.9%）

《課題・総括》

本アンケート調査は、本町の出生数の減少をきっかけに、出生数の増加には子育て支援に加えて、結婚を希望する町民が希望する年齢で結婚できるように支援する体制が必要と考えることから、結婚支援等推進施策に町民ニーズを反映させることを目的に実施した。

結婚の意向（問2）については、「結婚したい」と明確に思っている人が48.4%で、「相手がいれば結婚したい」と思っている人を合わせると86.1%の人が結婚に前向きな考えを持っていることがわかる。

その一方で、婚活をしている人（問7）は1割程度であり、婚活をしていない理由を見ると「仕事や勉強が忙しい」に次いで「婚活ではなく自然に出会いたいから」を挙げる人が多く、「婚活」が独身者にとって特別なものになっていることが分かった。そして、普段の生活の中で交際相手となるような人と出会う機会が「ない」と回答している人が60%おり、自然な出会いを求めているにも関わらず、その機会がないことが分かる。

婚活イベント（問15）については、男性は「都合が合えば参加したい」と回答している人が多かったが、「どちらとも言えない」「参加したくない」と回答した人も半数以上いることが分かる。女性は「参加したくない」と回答している人が多く、約78%の人が参加に否定的である。

以上のことから、「婚活」を目的としたイベントではなく、20代～40代の結婚適齢期の人が結婚意向に関わらず交流できる機会の創出が求められている。また、「交際相手はいないが、すぐにでも結婚したい」「2・3年以内に結婚したい」と結婚の希望が強い方に向けた結婚支援をすることにより、町の想いである「結婚を希望する町民が希望する年齢で結婚できるように」を実現することが可能になると考える。

町が重点的に取り組むべき結婚支援事業（問12、問18）については、独身者、既婚者ともに「経済的支援」「住まいの支援」「雇用の場の創出」を挙げる人が多かった。少子化に対する考え（問23）においても、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取組みを充実すべき」と回答する人が多く、女性においては次いで「職場における仕事と子育ての両立のための取組みを充実すべき」と回答した人が多かった。既婚者に聞いた家事・育児の分担においても、分担している家庭が約3割から4割程度あるが、半数以上は女性に負担が偏っている。独身者に聞いた「結婚を考えるうえで、不安に感じていることは何か」においても「結婚相手との家事・育児の分担」を挙げる女性の割合は男性よりも多く、既婚女性の現状が独身女性の不安につながっている可能性は否定できない。

これらのことから、町は、「結婚や子育てに関する経済的不安の払拭」「若者が定住するための住環境の整備」「女性が負担を感じずに育児と仕事を両立するための取組み」、この3点が結婚支援等推進施策及び少子化対策において重要なポイントになると考える。